

分野別実感と関連の強い要因の具体的な内容

- ・ 誤字脱字と推測されるものは、適宜修正しています。
- ・ 個人情報、プライバシー等に関するものは、除いています。

(1)-1 からだの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らした時間配分(ワークライフバランス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 睡眠時間の確保。 ・ コロナ禍ではありますが、規則正しい生活をしています。 ・ 単年度契約の会社員であるが、工作上、主に5月～翌2月まで外勤、自宅内作業、冬期間は自宅待機で自分の時間が持てる事。 ・ 仕事が出来ると言う事は、健康だと思っている。 ・ 制約のない生活。 ・ 育児をして規則正しい生活をしている。 ・ 仕事で残業せず、規則的な生活リズムを送れている。 ・ 在宅ワークの内容により、1日の休養時間の差が大きい。 ・ 仕事は忙しいが、休養・家庭の時間はとれている。 ・ 勤務時間が6時間と長くなく、1日にいろいろな事ができるから。 ・ パートで働いているが、疲れやすくなったと感じる様になった。 ・ 力仕事も問題なく対応でき、資格(取得済)を生した活動ができています。 ・ よく眠れる。毎日ウォーキングしている(8,000 歩程度)。規則正しい生活。 ・ サービス残業が多い。 ・ 仕事と運動はバランスよく取れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主人が、昨年病気になる、介護と仕事の両立。 ・ 会社が遠いので通勤に時間がかかるため。 ・ 長距離通勤のため、出勤時間が早朝になるため。 ・ 子どもの就寝時間が遅いため、それと付き合うため、睡眠時間が日々違うので、気をつけたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 睡眠時間が短い。 ・ 仕事が始まり、睡眠を取る時間はあるものの寝つきが悪くなり、トータル時間が減った。 ・ 仕事場の人手不足のため、勤務時間や労働時間が長くなり、自分の休みがない。 ・ 仕事で忙しく、身体が休まらない。 ・ 仕事が大変で残業などがありヨガに行く時間がとれない。 ・ 余暇に張り合いのある打ち込めるものがない。 ・ 365 日、仕事に追い回されている気がする(責任感からくるものかも知れない)。 ・ 仕事のストレス、残業の過多。 ・ 睡眠不足。 ・ 残業が多い。
2 スポーツの習慣の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日午前・午後に 30 分間散歩しています。 ・ あまりスポーツする気持ちはない。 ・ 新しくスポーツを始めたこと。 ・ 毎朝1時間体操している。 ・ 趣味の登山や健康維持するためのウォーキングを毎日継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な運動をしていない。 ・ 仕事では、結構体を動かしているが、休日などは、ほとんど体を動かす事がないので何らかのクラブにでも思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事を始め、より身体を動かさず時間が減り運動できていない。 ・ 膝の悪化により、運動ができなくなりストレス。 ・ スポーツの習慣がない。
3 歩行などの行動の制限の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足の筋肉をつけるよう、エスカレーターより階段など気をつけている。 ・ 日用品などをなるべく歩く歩いて店に買いにいっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年までゴルフをしていたが全コースを歩いていた。それが中止になったので歩行数が少なくなった。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<ul style="list-style-type: none"> 普通に歩ける。 		<ul style="list-style-type: none"> 転倒骨折、手術、リハビリを受けました。リハビリ継続中です。 左膝痛、腰痛。
4 食事の制限の有無	<ul style="list-style-type: none"> 好き、嫌い無くなんでも食べられる。 食事制限からの開放。 食べたい物を食べたいくらい食べられているから。 好きなものを食べられる。 間食をしない、腹八分目。 栄養のあるものを食べるようにしている。 食事の制限はないものの数年前から体重が減っている。 制限なし。 好きな物を食べ飲む。 		<ul style="list-style-type: none"> 甘い物、穀類、果物。
5 健康診断の結果	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、健康診断を受けていて結果が良いから。ずっと集団検診を受けてきて、問題なしだったが、昨年個人病院で検診したところ、もう少し詳しい検査をすすめられ受診したところ問題はなかったが、自分のからだについて、多少わかったから。オールAだった。 毎年の結果を比べて気をつけている。 精密検査で受診、治療中。 特に問題は無い。 一部要検査の項目もあるが、他は年齢相応である。 薬を飲んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 検診での結果。 健診の結果をかかりつけの医師に見せても年令的には大丈夫といわれている。 数値がよくない。 血圧、コレステロール、その他。 高血圧、肝機能。 	<ul style="list-style-type: none"> 要検査が稀にある。 3、4年前から異常が発覚。
6 持病の有無	<ul style="list-style-type: none"> 経過観察があるため。 持病の改善。 持病無し。 大きな持病なし。 手術から5年を迎えるが、定期検診は正常値である。 薬を忘れずにきちんと飲んでいるから。 持病が無いこと。 健診を含め、定期的に見てもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 心筋病、高血圧、腰痛。 手術後、再発のおそれもあるので安心には暮せない。 	<ul style="list-style-type: none"> 軽い糖尿病。 ぜんそく。 がんの治療中。 ①血圧が高め ②持病、腰と首のヘルニア。寒い季節はつらい。 持病のため、咳が出るが、このコロナ過のため外出しにくい。 軽い腰椎ヘルニアであるため。 関節リウマチの症状が悪化して、歩行が難しくなっていること。 慢性腎不全で人工透析中。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
7 ころの健康状態	<ul style="list-style-type: none"> 二世帯住宅に住む鳥子一家と楽しく暮らしており、孫娘と一緒に遊ぶと元気が出ます。 心配することはないこと。妻が弱っているが病院に連れていっている。 仕事のストレスが無い。 家族の頑張りや応援ができる状況にある。励みがある。 心配事無し。 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢を重ねるごとにいろいろなことを考えてくる(これから先の不安等)。 	<ul style="list-style-type: none"> 左膝痛、腰痛。 高血圧、肥満。 フンオベ育児、フルタイム勤務で疲労が溜まり、休業することになったため。 別居中の家族が世話をしてくれていますが、考え方の違いが大きくて、一人で思い悩むことが非常に多い。 昨年妹が亡くなり、私も入院。その後震災の後の様な気持ちになり眠れなかったり、不安になったりしていること。 高齢と介護。
8 その他()		<ul style="list-style-type: none"> 耳の聴こえが悪くなってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが発達障害のため、いろいろと考える。 がんで治療中。
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> (1,2,3,4,5,6,7)全搬に良好。 (1,3)仕事が楽しく出来ていること。つらくない。 (5,6)病気は今のところ何も無い。 (1,2)昨年4月から社会復帰(就労)。暮らしのワークライフバランス。 (4,5,6,7)今のところは持病がなくて、健康診断の結果も良好です。ころの健康状態も良好だと思ふ。 (1,4)自分の自由に出来ている。 (5,6)持病なし。 	<ul style="list-style-type: none"> (1,7)認知症の母親の介護。自由な時間無し。 (1,7)家族を中心とした生活。自分だけのゆったりした時間が作れない。 (1,7)眠れない日がある。 (5,6)高血圧。 	<ul style="list-style-type: none"> (2,7)運動不足。70才を過ぎると、心も体も色々なところが痛くなってきて気持的に痛いところがでると落ち込むし病気になる。早く病気が治ればいいとせつかちになってきている。 (2,3)運動不足、自動車での移動による歩行不足。

※ 複数選択等の()は、要因の番号の記載が無かったもの

(1)-2 こころの健康

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間帯分(ワークライフバランス)	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活ができている。 ワークライフバランスは上手に取れていると思う。 育児をして規則正しい生活をしている。 睡眠時間を減らさない様になっている。 睡眠、仕事とも充実していると感じている。 睡眠を十分とっている。 1日8時間以上の睡眠を取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主人の病氣・介護など。 認知症の母親の介護等に付き、充分に自分の時間が取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の送迎と仕事と家事でいそがしすぎる。 歩行数が少なくなった。 365日、頭から仕事に離れない
2 仕事・学業におけるストレスの有無	<ul style="list-style-type: none"> 年上への対応。 ストレス無し。 職場の人間関係が良いので。 育休中でストレスフリーです。 臨時なので継続雇用してもらえるか心配。 	<ul style="list-style-type: none"> 同僚からのパワハラで疲れました。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も仕事に契約更新なるのかどうかははっきりしないため。 月給だが、生活するのにもっと欲しい。
3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	<ul style="list-style-type: none"> 自分の時間の確保(仕事・家事以外の)。 仕事上のストレスは上手に処理できていると思う。 子ども達が社会で自立、活躍している。 仕事以外の趣味に生きがいを感じられている。 趣味のサークル活動や習い事などを楽しんでいる。 家族から協力と理解を貰える。 ストレスフリー。 	<ul style="list-style-type: none"> 主人の病氣・介護など。 昨年、父が亡くなり、母が1人暮らしになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの病氣治療等へのストレス・不安感。 子育ての悩み。 未婚の重圧、焦り。
4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など)	<ul style="list-style-type: none"> 余暇を利用して1人世帯のシルバームイトとして活動している。 趣味三昧で充実している。 地域の伝統芸能保存会に所属し、活動を続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の母親の介護等で、時間を気にせずに行動出来ず。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の時間をつくるのが難しい。
5 相談相手の有無	<ul style="list-style-type: none"> 何でも相談出来る話相手がいること。 連れ添いといつも仲良くしています。 解決してくれるまで一緒に悩んでくれる。 夫への相談や話を沢山するようにしている。 すぐ近くにも家族にも相談出来るから。 	<ul style="list-style-type: none"> 何かあった時、踏みこんでの相談をできる相手がいらない。 	
6 からだの健康状態	<ul style="list-style-type: none"> 年相応の健康状態ですが、元気に暮らせること。 病気が悪くならないか心配だ。 妻の神経痛。 家族の頑張りや応援できる状況にある。励みがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 検診結果。 持病の心配。 再発のおそれを感じながらの生活は不安だらけ。 	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康とからだの健康はバランス良く運動している事が大事。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<ul style="list-style-type: none"> • からだの健康状態がいい。 • からだが健康だから。 • 高血圧だけ。 • 年に一度病院で検診、がん検診、歯科も。 		
7 その他()	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもも独立、親も逝き、気苦労減った。 • 自分で、ストレスをコントロール出来ているから。 	<ul style="list-style-type: none"> • 介護の母親に薬の飲み残りこしを指摘したりすると、すぐに邪魔にされる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 体の健康。 • ワンオペ育児、家事、長距離通勤。 • 離婚。
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> • (1,2,3)仕事上でのストレス不安がない。 • (1,2,3,4,5,6,7)全搬に良好。 • (1,2)昨年4月から社会復帰(就労)、午前5時半起床、6時45分職場出勤。午後5時半帰宅、1時間程のスポーツ習慣。午後9時半就寝の暮らしのワークライフバランス、プラス読書。 • (3,4)趣味の読書(主に小説)でストレス無し。 • (3,4)無職ストレス無し。趣味、庭いじりもしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • (1,2)慣れない仕事で、出来ない事も有り、落ち込む。 	<ul style="list-style-type: none"> • (1,2,3)仕事に恵まれなかった。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(2) 余暇の充実

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
<p>1 自由な時間の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 主人の病気・介護。 • 夫が、家事を手伝ってくれる。 • 育児以外は自分の自由な時間を使えるため。 • 休日は自分の時間を自由に使える(子育ても一段落した)。 • 週3勤務のため自由な時間はありすぎる。 • 子育ても終わり自由な時間が増えた。 • 1人の時間を大切にしています。 • 休みの日は、家事に追われ、なかなか自由な時間がとれない。 • 庭の手入れ。 • 家事の手伝いで夏、秋の休日は農作業が多い。 • 時間の確保はとて難しい。 • 求職活動以外の時間があるため。 • 夜は自由。 • 母のデイサービスの日は自由。 • 自分の予定に合わせて自由に行動している。 • 休みが少ない。 • 自由な時間はあるが外出が少しおっくうになってきた。 	<p>横ばい</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子育てで制限されるときがある。 • 規則正しい生活の中で、新聞や YouTube で情報を得ている。 • 家事以外は自由だから。 • ワンオペ育児で自由時間、休める時間がない • 子どものスポ少で自由な時間が全くない。休みが全て子どものスポ少で終了する。 • 定時には仕事は終了するので、予定は立てやすく、気持ち的には楽。 • 自分のために使える時間が夜中になる。 • 育児・家事が優先のため時間が取れない。 • 時間が足りない。 • 時間が足りない。 • 停年後でもあるため自由時間有り • 仕事や地域行事等に追われて時間が無い。 • 仕事が忙しい • 平日は仕事と家の事、土・日は、実家へと気が休まらない。 • コロナで自由に交流出来ないけれど、他のしたくない交流をしないで済むので自分の自由時間を作るこ • とができて良い。 • 休日でも家の事、家族の事等で1日のほとんどの時間がなくなってしまふ。 • 退職をむかえて様々やらなければならない事が増えて余暇を利用できなくなっているから。 • 会社を経営しているので、休日でも次の日の段取りや用意、休日にか対応できないお客様への対応で自分の時間が作れない。 • 自由。 • 子育て。 • 少しずつ体動かして無理無い運動しています。 	<p>実感低下</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自由な時間が無いのかも。 • 自由な時間を確保しても、健康が1番。 • 仕事のために自由時間が少ないこと。 • 職場の週休は、規定通り守られているが、不定休のシフトのため、余暇として活用できない。自分の休息と家事で、充実しているとはやや言いがたい。 • 現在親の介護を行っているため、自分の自由な時間が少なくなったと感じる。 • 育児による自分1人の時間がない。 • 認知症の母親の介護等。 • 持病の症状が悪化したことで、家事などに時間がかかり、自分の時間が少なくなっている。 • 自分の時間は食事、風呂、ふとんに入った時。 • 子どもが3人とも小さく、自分の自由時間が少ない。 • 家事、育児のため。
<p>2 運動や行動の制限の有無</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 一週間に一日健康体操に行けること。 	<ul style="list-style-type: none"> • 体が弱いから。 • 行動制限が少なくなってきた。 • コロナによる行動制限。 	<ul style="list-style-type: none"> • 腰と膝の病気のため歩行が困難で何もやれない状況でいる。 • 医療職のため行動制限があり県外に行けない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		<ul style="list-style-type: none"> 病気のため運動が出来ないこと。 特に早朝における体操・運動を心がけ実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が出来なくなり施設入所中でコロナ対策も厳しくこれまでの生活がすっかり変わってしまった。人生が一変したと感じている。 体力低下、骨粗鬆症のため積極的な運動が出来ない。 ゆっくり運動する時間がない。 高齢者と同居しているので、コロナに感染しないように、外出を控えている。
3 文化・芸術の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 美術館。 図書館の充実が自分の好きな本を読むことを楽しませてくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビでも日曜美術館を見たり、音楽鑑賞もできる。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナが今横行している中で年者いっているので、外で何かは難しい。 小さい子どもがいるため入場制限や気力。
4 スポーツ観戦	<ul style="list-style-type: none"> 野球などのテレビ放送が少なくなったこと。 離れている甥や姪の試合を YouTube で見る。 子どもの応援。 中学生の子どもの部活動の応援が楽しみ。 野球、相撲などを見ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 孫のスポーツ観戦、野球(大リーグ)。 全てのスポーツ観戦(テレビが主)。 	
5 文化・芸術活動の場所・機会		<ul style="list-style-type: none"> 岩手県はスポーツイベントが少ない。 美術展に行きたいが県外に行けない。国内旅行に行けない。 	<ul style="list-style-type: none"> 都会から離れているためコンサート等に出かけるのが大変。 何かをしたいと思うが、やり方がわからない。 やりたいことはあるが時間・お金に余裕がない。
6 スポーツの場所・機会	<ul style="list-style-type: none"> 所属するチームの練習時間と子どもの塾や部活の送迎が重なりあまり参加できない。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍や仕事により機会が減った。 ソフトテニス。 天候が良ければ、毎日グラウンドで1時間半運動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商売をしているのでイベント日に休日が合わない等。
7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	<ul style="list-style-type: none"> 自然に触れるとリフレッシュ出来る。 趣味の時間が取れる時はアウトドア活動をするようにしている。 家族と小旅行、散策。 自然がすぐ近くにあり、行きたい時に行ける。 登山が趣味なので、休日は山へ行っています。 海や山へ子どもと出かけるようにしている。 レジャーや登山ができる。 トレイルスポットが近い。 	<ul style="list-style-type: none"> 登山月1回は登るよう心がけている。春から秋は月数回。 年に2回位、温泉に行ったりする(海や山へ)。 季節事に「山」に散歩するので楽しみです。 山菜やキノコ採りをする。 釣り(地域周辺の川)。 行きたいと思う時になかなか行けない。 自分の山へ子どもと行き、遊べるから。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然とふれあう機会がなくなること。
8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	<ul style="list-style-type: none"> 百才体操など週3回あるので何とか行かねばと思う気持ちになる。 コロナのため、自治体の講座に3年ほど行っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 放送大学などで生涯学習を行っている。 老人クラブ・高齢者学級等への参加。 	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染で、制限している。 郷土芸能の伝承。 子育て支援のボランティアをしています。 まちおこし活動を行える。 老人クラブ活動を通じて。 町内会の活動などに従事している。 民生委員などをしていることで交流がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺被害防止サポーターなど。 地区の行事への参加(コロナのためほとんど出来ていない)。 町内会活動をよくしている。 ボランティアとして医療機関への通院補助・見廻りの実施。 文化・芸術の鑑賞やスポーツ観戦が好きだが、当地域は中々恵まれていないことや、加えてコロナ禍で出かけるににくい現状にある。今やれるのは地域内の自治会等の活動やボランティアに限定されている。 野球の審判や通学路の除雪。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域・社会のためのボランティアをやってみたくいが、窓口がわからぬ。 コロナで数年行えていない重要なイベントがある。
10 趣味・娯楽活動の場所・機会	<ul style="list-style-type: none"> 趣味をめいっつぱい楽しんでいる。 写真展などを通じて交流を深めている。 ゲームが趣味。 自由な時間に絵画を教えてもらえること。 次々と機会を探し、動くようにしている。 サークル等充実している。 映画館がない、遠い。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で控えるようになってしまった。 環境が比較的に良い。 月1回趣味の習いごとしている。 福祉センターでスポーツ・趣味。 仕事の合間で4月～10月頃まで自宅脇の家庭菜園で楽しめる。 子どもの病気に伴う余暇時間の制限。 旅行も思うようにできない。 行動しやすい趣味。 値段がドンドン高くなっていく。 週1-2回のパチンコ。 趣味がない。 家庭菜園(5月～11月)。 ペットの世話が楽しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行等できなくなった。映画やネットカフェも行けなくなった。 やりたいことはあるが時間・お金に余裕がない。 若い時は少しは活動的に旅行に行っていたが今はほとんどできない。 コロナで映画を見に行けなくなった事。
11 家族との交流	<ul style="list-style-type: none"> 常に家族が側に居てくれる事。 出産したばかりでなかなか時間に余裕がないが、家族といえる時間が多い。 温泉に行きます。 家族共通の楽しみがある コロナのためめに会いに行けない。 土日祝日は家族と過ごせる。 家族とは、会話をするようにして1人1人の様子も気をつけています。 	<ul style="list-style-type: none"> 二世帯住宅に住む息子一家と楽しく交流できるところ。 家族が休みの時は出かける。 家族と旅行。 子どものスポーツで自由な時間が全くない。休みが全て子どものスポーツで終了する。 息子、孫との交流。 3人の子ども達と遊ぶこと。 外出。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で家族との交流(直接会うこと)が減った。 自分の休みと、家族の休みが、なかなか合わない。 家事に追われ子どもとの交流の時間も少ない。 家族の支えを受けて感謝する一方、精神的な支えというか安心感がいまいちで不安を感じることも多い。 子どもと出かける時が極端に減ってしまった。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<ul style="list-style-type: none"> 孫と一緒に料理を作ったり、楽器をひいたりと楽しい。 コロナのため。 孫との時間。 家族と過ごす時間は充実している。 妻、子ども、孫達と毎日楽しい。 家族で週一くらいで食事に行っている。 	<p>横ばい</p> <ul style="list-style-type: none"> 80才を過ぎた母の所に行く事が増えました。 月1～2回温泉に家族で行く。 色んな相談ができる。 コロナウイルス感染のため、娘家族に3年会えていません。 家族(夫婦)との会話が少なくなる。 家族には恵まれ、楽しく仲良く交流している。 子ども達が離れている。 一緒に行動、話しをする。 休みは家族と自由にしている。 	<p>実感低下</p>
12 知人・友人との交流	<ul style="list-style-type: none"> 知人、友人との食事会等3年間全くありません。 年に何度かキャンプや飲み会をする機会がある。 地元よりも、関東の友人との会話が楽しい。本音で話せる場所、相談できる場所が必要だと感じます。 コロナのため。 まちおこし活動をする仲間がいる。 知人友人との交流が難しい。コロナが落ち着いたらと毎回声かけあって終わる。病人や高齢者の世話をする世代なので仕方ない。 友人とオンラインでゲーム。 コロナになってから交流が少なくなった。 交流を増やす努力している。 知人友人で月1、2回酒を飲んで楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友人とよく出かけている。 友達と食事をする。 コロナを機にオンラインでつながる事が増えた。 子どものスポ少で自由な時間が全くない。休みが全て子どものスポ少で終了する。 コロナ等行動控えによる外出の減少。 友人達と暇な時間帯がなかなか重ならない。 コロナ禍から対象者は行動を自粛されてしまい、人が交流できないので、飲み会もできない。 遊びに行ったりする事がコロナ等のため出来なくなつた。 知人友人との交流が少なくなってきた。 コロナのため交流が少なくなった。 他人と交流が少ない。 友人と会える機会があった。 身近な人との良い時間の使い方。 友達と好きな事している。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナのため交流できない。 仕事が始まり、休みが合わず遊べなくなつた。 コロナのため、友人と会うのも控えている。 コロナ禍で友人との交流(直接会うこと)が無くなつた。 医療職のため行動制限があり飲食を伴う交流がもてない。 コロナになってから、友人との対面での交流がほぼ無くなった。 友達と会えなくなった。(職場での行動制限) コロナ禍につき、交流の機会も減少。 コロナ禍で友人・知人との集会・会食などが出来ない。 以前のように会うことができないため充実してすごしているとは思えない。 コロナ禍で友人達と行動できない事。
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> (-)コロナ3年目になります。やはり、まだまだ外出する時間が少ない様に思います。 (1.11)金がかかるとは出来ない。家族と自分が一番。 (1.11)低収入の高齢者は、何も出来ない。でも、出先でガンバっています。高齢者排除に不安。 (1.10.11)充実している。 (3.11)長男と2人で人生はじめての演劇鑑賞して楽しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> (2.10)コロナ禍で以前よりも機会が減つたため。 (3.10)コロナになってからは、全く無しに近いが、コロナがなければ○です。 (1.9,10,11,12)退職前は子ども会から現在に至るまで、夫婦で町内の役員を買ひ物、外食等、何の束縛も無く有意義に過ごしています。 (3.4.5)好んで出かけたいたいが仕事を辞めてコロナで難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> (10,12)コロナが心配で行きたくない所へ行けない。 (3.5)盛岡まで時間もかかり、交通費もかなりかかる。格差がありすぎるのがすごく不満。 (1.10)仕事だけで1日が終わるので趣味の時間が取れない。 (11,12,13)なかなか予定が合わず、ほとんど遊べない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<ul style="list-style-type: none"> (2.10) コロナ禍で以前よりも機会が減ったため。 	<ul style="list-style-type: none"> (11.12) 家族とのラインは充実、友人・知人とのラインも充実、SNS等の発信。 (1.5.10.11) 金銭的、時間。 (6.12) (11.12) コロナで、自由に動けない。 (1.2.10) 無職なので時間は自由。 (-) 時間を有効に使っている。 (1.6.10) スポーツや他の趣味に費やす時間がある。 (2.10) コロナの影響により、回数も場所も制限があり今は休止状態となっている。 (-) 休日でも、主婦業に自由時間はなかなかとれない。 	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(3) 家族関係

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 同居の有無	<ul style="list-style-type: none"> 同居有り。 同居家族と相談できること。 長男、次女と同居。 妻と2人の生活、市内に息子家族が住んでいる。週1～2回来るし、時々泊まり、食事と一緒にする。困った事はなんでも相談している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二世帯住宅に住む家族。 家族みな仲良し。 妻と同居出来ている。 昨年5月までは同居、今は近くではあるが別居。 長男家族とは、同居していないが、月2～3回遊びに来るので楽しい時間をすごしている。 同居していない。 義母との関係。 母親の介護。 退職後は同居、それぞれの趣味活動は制限しない。 実母と夫、私、3人なんとか生活しているから。 妻と2人暮らしで仲良く生活している。 妻と同居。 家族3人で居る。 同居で一緒に御飯を食べている。 	<ul style="list-style-type: none"> 県外に同居の母がいる。母は、雪の多い岩手には来たくないと言う。 実母との同居で負担減。 同居する両親。
2 会話の頻度 (多い・少ない)	<ul style="list-style-type: none"> 会話多い。 それぞれ活動の場があり、また、コロナ禍の対応の黙食が習慣化され会話が減少。 会話・困らんが楽しい。 何でも相談出来て、分担し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家内や孫との会話が特に多い。 話すことが比較的多い。 主人が病気になる、主人が仕事も出来なくなったり、一緒にいる時間が増えたり、会話も多くなったり、様々なことを話すことが出来る。 夫婦でよくおしゃべりする。 夕食後一緒にいる時間が短い。 常に会話が出来る仲。 子どもがお話できるようになり、楽しんでいきます。 耳鳴りで高い声でないと聞き取れない。 会話は出来ている。 いつも色々な事が話せます。 夫も定年退職し、自営になったため、家で過ごす時間が多くなり同じ趣味についての話なども以前より多くするようになった。 家での会話の機会をなかなか作れていないところ。 一緒にいる時は家族との会話は良くするが、夕食が遅くなる事が多いため家族に迷惑をかけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の話もあまりしないので食のことくらいで会話は少ない。 自分から話題を出して会話するように明るくするよ。うにと日々の心がけですが、介護受けている夫は、そのわりに会話に意欲的ではないため悩みのたねです。娘、息子達には、がんばれと応援してもらいながら、家族の関係が保たれている。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		<ul style="list-style-type: none"> 家族との会話が深い。 子どもとの会話。 特に息子との会話がほとんどない。 夫婦の会話少ない。 会話が深い方だと思う。 毎日、娘や孫が来て楽しい生活をしている。 妻と飲食店の営業をしている。 1人よりやはり家族との会話が一番です。 月に3、4回3人で外食している。 	
3 一緒にいる時間(長い+短い)	<ul style="list-style-type: none"> 家族の夜勤が多い。 一緒にいる時間が長い。 	<ul style="list-style-type: none"> 家内といる時間が長い。 主人が病気になる、主人が仕事も出来なくなつたため、一緒にいる時間が増えたと、会話も多くなつた。 コロナ禍で同居家族と過ごす時間が増え、以前より良好な関係を築けていると思う。 家にいる時間を作れず一緒にいる時間があまりない。 一緒にいる時間が短いためか、気にかけてもらえていないように思います。旦那との距離感も良いのではありません。 生活費のほとんどを担っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一緒にいる時間が長い。 夫とほとんど会話する時間がない。
4 家事分担のバランス	<ul style="list-style-type: none"> 妻に家事の大半を担ってもらっているのが申し訳ない。 家事はほとんど行っている。 夫から家事の協力をもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事で留守の時、家事をやってもらっている(夫)。 夫がよく家事してくれる(食事作り以外)。 家族が仕事をしているので夕方は食事を作る。 夫の家事は、ゴミ出し、食器洗い、自分の食事は作れる。 妻との日常の分担。 高齢のため歩行が困難な面があり、ゴミ出し、買い物手伝いがあり助けられている。 昨年、私が入院してから積極的に家事を手伝ってくれるようになった。 家事分担が無いので家事を行っていないこと。 主人が家事のほとんどを行ってくれる。時間がある時だけ私が行う。 家事は何でもする。 お互い臨機応変に出来ている。 家事も出来れば手伝って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 料理を少し覚えてほしい。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
5 ペットの存在	<ul style="list-style-type: none"> ペットで家族が癒される。 	<ul style="list-style-type: none"> 2匹のネコがかわいい。 猫2匹。 錦鯉が仲良く遊ぶ姿を眺めていると、心が癒される。 共通の話題があり、会話が弾む。 ペットがいるだけで笑いがあがる。 猫が家にいるだけで幸せだ。 ペットについて話すことが増えた。 ペットは精神的癒しですね。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療費が全て私の負担のため。
6 自分が家族にもたらす精神的影響(貢献・負担)		<ul style="list-style-type: none"> 仕事の疲れも子どもの顔を見ると、取れます。 互いに支え合っていると思う。 体調が悪くなると夫に負担をかけている。 やってあげている事も多いので(家事全体)多分少しは助かっていると思います。 頼られている。 家族に心配をかけないように努力している。 老母の介護を妻に任せっきり。 子ども達は遠くにいて、夫婦が助け合い支え合っている。 日々の生活が成り立っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスの飛び火。
7 自分が家族にもたらす経済的影響(貢献・負担)		<ul style="list-style-type: none"> パートで少したが、役立っていると思う。 妻、昨年よりパートになったため、経済的には収入減。 夫が亡くなり一人の生活ですが経済的に自立している。 家計は主人と折半と思っているが多くを主人が負担している。 なんとかか2人の年金で生活は可能。 給料が少くない。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療費が結構かかるので負担をかけている。 収入が少くない。
8 家族が自分にもたらす精神的影響(貢献・負担)	<ul style="list-style-type: none"> 家族と仲が良く一緒にいるだけで幸せです。 適度な距離間を保っているから。 家族が自力で意思決定できず、すべて自分に来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族がいることで穏やかになれる時がある。 近くに娘家族がいて毎日のように来る。 子ども3人が独立しているため、自分の精神状態は安定している。 老齢への応分のいたわり。 子ども達の成長を頼もしく思っている。 いつでも自分の味方してくれる人がいるという安心感。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症家族対応。その他はよい関係。 家族の精神的な病気。 細かい小言が多すぎず。 親の介護のため、食事、通院等全て自分にかかっているため負担に感じることがある。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
9 家族が自分もたらす経済的影響(貢献・負担)	<ul style="list-style-type: none"> 家主としての責任、子ども達の経済負担。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに支え合えていると思う。 家族がいなくても1人だったらと考えると、居てもらうだけでいいですし、助けてもらっている事も多いです。 頼りにしている。 妻の貢献度、大。 子ども達は遠くにおいて、夫婦が助け合い支え合って日々の生活が成り立っている。 高校の学費が高い。 経済的に夫に支えてもらっている。 多少余裕があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 声をかけても配偶者が仕事をみつめてくれない。この状態が続くのはつらい。 子の学費を捻出するのは大変だが、子のためと思っている。 ペットの医療費を全く払わない。
10 困った時に助け合えるかどうか	<ul style="list-style-type: none"> 普段はお互い自立して生活を行い、いざという時に助け合えることが一番心がけていること。 一語にゆったりとした環境の中で、生活出来る幸せをしみじみ感じています。 困った時、味方でいてくれる。 現状、期待がもてない。それぞれが自身中心。 困った時は、別居している子どもが面倒を見ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体調が悪い時などが特に。 当然です。 夫の両親に子どもをみてもらえる。 母に家事や育児を手伝ってもらえないと仕事を続けられないと思うから。 お互いに共有し合えていると思う。 心配してくれている。何でも話し合える。 毎日、娘家族の洗濯物を干している。乾いたら家に届けている。 何でも話せる。 互いに通院等の場合は付き添っている。 母、兄とほとんど会話せず5年ぐらいたつ。 近くに娘家族がいるので安心である。 困った時は、家族で助け合っている。 	
11 家族はいない		<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしではあるが、時々帰って来る子どもや孫に対しては感じるので〇にしました。 年令が高くなると不安が高くなる。 	
12 その他()		<ul style="list-style-type: none"> 現在主人と二人で暮らしているのですが、家事全般何から何まで私がしなければならぬので時々負担に感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> みんな疲れている。
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> (6,7)自分が病気で、負担をかけている。 (8,9)家族の仕事の不安定。これによる家族の精神的不安。 	<ul style="list-style-type: none"> (1,2,3)家族と一緒に暮らせる事に感謝。 (1,2,3,4,6,7,8,9,10)いつも、夫婦、息子と仲良く過ごしています。 	<ul style="list-style-type: none"> (8,9)同居する負担。 (8,9)負担。 (6,8)叔母と祖母と度々もめる。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<ul style="list-style-type: none"> • (-)感謝し、感謝されている。 • (8.10)具合が悪い時など、皆で助けてくれる。 • (1.4)何かと相談出来るし、家事に関しては内外の そうじ等の分担が出来ている。 • (6.7.10)同居してないのでわからない。 	<p>横ばい</p> <ul style="list-style-type: none"> • (5.6.7.8.9.10.11)血縁者はいるが、不和になり住むべき家から不当に追い出され、経済的にも困窮。誰も助けてくれる人もいない。 • (4.9.10)夫に、色々助けてもらっている。感謝。 • (2.3)ワークライフバランスには程遠いが、家族との時間をできるだけ作るようにしている。 • (6.7)よい関係にあると思っている。 • (-)一緒に居ると幸せを感じる。 • (6.8)別居している子ども、その家族との会話する機会が多い。 • (1.10)一番大事。ありがたい。 	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(4) 子育て

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	<ul style="list-style-type: none"> 実家が近くにあり、精神的に安心できている。 親戚がいない。 義母が近くに住んでいて力になってもらえらる。 子どもをみてもらっている(放課後、長期休暇)。 親と同居のため、夕方や土曜の心配がない。 妹の孫を見てあげられるので。 	<ul style="list-style-type: none"> 息子の子どもを預けられています。 身近に子どもを預けられる人がいるので子育てはしやすい。 仕事で誰も子どもを見られない時、見てもらえらる。 	<ul style="list-style-type: none"> 母が子どもを連れてきてくれるから何とか成り立っている。
2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育の充実。 孫が保育園で良くみてもらえらる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅の近くで預けることができている(保育園)。 息子の子どもも下校後などに一緒に遊んでいます。 近くに保育所があっても遠い所を割り当てらる。 子どもの減少に伴い、幼稚園閉鎖、保育園しかない状況。 自分は今も子育てを終了しているが、職場の同僚は、子どもが発熱等体調が悪くなると保育園からTELが来て迎えに行かなくてはならず、病気で預かってくれる所があれば…と話している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育が足りない。
3 配偶者の家事への参加	<ul style="list-style-type: none"> 家事の分担ができている。 残業ばかりで家事参加できる状況にない。 		<ul style="list-style-type: none"> ますまず、仕事を重視しなければならぬ時代に入ってくるのではないかと思う。 男性の職場の理解・本人の協力姿勢が必要と思う。
4 子育て支援サービスの内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の充実。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の子育ての時期より、今のほうが支援や保育料無償化などあり、良い方向にあると思う。 常に何かあったら駆け込める、相談できる場所がないと不安。
5 子どもの教育にかかると費用		<ul style="list-style-type: none"> 高校の就学支援金が支給されないため、910万円以上に支給してほしい。 大学生なので学費等の支出が多い。 塾にお金がかかる。習い事も。 大学や部活など費用がかかる。 子どもは全て成人したが、今までの経験から育てやすい場所だったと思っています。 電子化が進み、パソコン、タブレット、スマホ等が必須となり昔と比べると、かなり高額になった。大学も進学率が高くなり、行くのはいいいが結局二回にな 	<ul style="list-style-type: none"> 大学までを考えると親の負担は大きい。高校卒業してから教育面での費用も何か支援があれば助かると思う。 これからは物価等が上がり家庭では出費が多くなるので子どもの教育費用は大変厳しくなると思う。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
6 子育てにかか る費用	<ul style="list-style-type: none"> 自分達が子育てした時よりも、手当などが増えている。 	<p>る者もいる。将来どんな職業に就きたいのか具体的に決めた上で励み一人前になってくれるならいいが、思惑通りいくはずも無く、お金はいくらあっても足りません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等学校までは地元にあるが、大学進学した場 合、居住費等の負担が大変。 今年4月、子どもが高校に上がります。学費と通学 費はかかります。 過去のことになるが娘の学費は大変だった。近く よい学校がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育や幼児保育に費用がかかる。
7 自分の就業状 況(労働時間、休 業・休暇など)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の仕事自由がきく。 勤務地が少し遠いため通勤に時間が取られ、朝、 夕子どもとの時間があまりとれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 片親世帯への配慮が現実的でない。 子どもが目標とするあるべき姿を痛い程感じるが、 家計上国公立にしか行かせられず、もっと支援があ ればと悔やんでいる。 部活の費用がかかる。 医療費助成の適応を拡大してほしい。 フレックスになり柔軟性ができてきた。 子どものための休暇制度があっても、仕事量や雰 囲気から利用できない。 有給休暇だけでは子どもの通院などで間に合わな い、足りないと思う。 妻が福祉関係の仕事をしているが、人手不足、重 労働に対しての対価に隔たりがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと約束をしていることが仕事で中止、中断す ることが時々ある。
8 配偶者の就業 状況(労働時間、 休業・休暇など)			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの行事等に合わせて休暇が取れない。
9 自分の勤め先 の子育てに対す る理解	<ul style="list-style-type: none"> 学校の行事でよく早退させてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅ワークも利用できる。 	
10 配偶者の勤 め先の子育てに 対する理解		<ul style="list-style-type: none"> 妻が育休中。 働き方改革は全くなし。子育て環境は全く改善して いない。 	
11 子どもに関す る医療機関(小児 科などの充実	<ul style="list-style-type: none"> 近くに医療機関があり充実していると思える。 現在は、小児科ではなくなったが、学校生活や部活 の時間や私の就業時間を合わせると、子の持病 を診てもらえる病院が少なく、通院を先伸ばしに してしまう事が多い。また、大病をした際に、基幹病院 に紹介状を持って受診に行ったが、混んでいるた 	<ul style="list-style-type: none"> 近所にそろっているが、混むことが多い。 大きな病院に行くしかない(大した事でなくても)。 産婦人科や小児科が地元には無く、日常において 心配が消えない。 医療費が無料だから 	<ul style="list-style-type: none"> 小児科、病児保育の不足。 近くに小児病院が少なくなってきた。出産できる 所も遠い。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
12 子どもの遊び場(公園などの充実)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診てもらえず、3週間先の予約まで待つ事になった。子どもの病に不安でしかない。 ・ 近くに公園等遊び場がない。 ・ 近所に公園などがなく、外で遊べない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期間の小さい子どもの遊び場がない。 ・ 住宅地の公園の整備を近い住民に任せている子どもが少なく、草刈りなどしない。 ・ 子どもの自由な遊び場が少なすぎる。親が居なくても安心して遊べる遊び場が少なすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨天の時に遊ぶ。室内、屋内の施設がない。 ・ 公園など子どもと遊ぶ所が身近に少なく気軽にいけない。 ・ 公園遊具が撤去されたり、「〇〇はダメ」等制限があったり、子ども達がのびのびと遊べない。 ・ 身近に充実した公園がないから。
13 子どもの習い事(選択の幅)			
14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は老夫婦のみなので。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが社会人となったため。 ・ 子ども達は全員就職しているため。 ・ 子どもが全員嫁いだ。 ・ 夫婦のみで、子どもは成人して別所帯である。 ・ 小学校も閉校になるほどに、近所に子どもはいません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人なので。 ・ 今現在は身近に子どもがいないが、子育てが年々しにくい環境にある。
15 その他()	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前、仕事をしていた際、孫の病気の看護を娘と変わろうとしたが、それは親の仕事と断わられた。 ・ 子どもが協力的。 ・ 教育環境が都市部よりよいとは思えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもは皆大人で孫の世話に協力している ・ 今の子育てをとりまく給付金や学費の無償化などは、自分が子育てをしていた20年前にはなかった。 ・ 子育て、恵まれていると思う。 ・ 子育て、ほぼ終わり、今後は進学への経済的負担のみ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代が少なく、同年・同性がいないため一人で留守をすることが多い。 ・ S50年代私達が子育てしている時は支援サービスなど無く保育料も収入によってなので、大学の授業料位かかったときもあり、子どもを保育園幼稚園に入所させなければ子どもが出遅れる感じでしたが、今は私達の時とくらべれば保育料も無料。
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ (5.6)すべての場面に費用は発生する。 ・ (7.8)自宅での仕事のため。 ・ (7.9,10)子育てにとても理解していただき、働きやすいと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (-)子育て出来るには「キビシイ」。 ・ (13.15)塾に行かせたくても、いい時間の交通機関が利用できないので、車での送迎となると多少負担になる。 ・ (3.8)仕事が大変だと思うので、家事、子育てはこれからお願いしていた。育休を男性がとるなら学んではいけないとダメだと思う。 ・ (4.12)相談窓口と居場所が無い、古い支援の形しか無い。 ・ (12.13)学校が遠い、子どもが歩いて通学できない状況(距離、治安等)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (-)施設は良いが、家での負担(朝、夜)が大きい。 ・ (-)配偶者の長時間労働で協力が得られなく、つらい。 ・ (-)自分の体調が優れない時に、子どもと一緒に泊まれる場所がほしい。 ・ (-)子育て支援策は、夫婦や家庭の問題としてだけでなく、女性の職場への進出が極めて進んでいる今日、生活にゆとりある働き方が出来る社会と経済的負担が軽減される仕組みが必要に思う。出会う機会が少なく晩婚化→仕事との両立や子育て時間や費用から少子化と悪循環が続くばかりでは…。 ・ (1.2)協力してくれる人や場所があるので、育てる部分では助かっている。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
			<ul style="list-style-type: none"> • (4,5,6)国の支援がない。子育てに金がかかり過ぎる。 • (5,6)学業に関係がない制服やジャージ類がなぜあんなに高いのか。 • (5,6,13)やりたいという事をやらせてあげられない事が多々ある。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(5) 子どもの教育

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 学力を育む教育内容	<ul style="list-style-type: none"> 教師にレベル差がある。 中学校のテストの平均点が低い。学校で作成しているテストなので教える方または学ぶ方に問題があると思う。 学ぶことが楽しいと思える授業なのか、教師に能力があるのか。 孫が2月の国家資格の勉強に図書館に通ったりして、勉強しているので、家族皆で栄養のある食事を考えたり静かな環境を作るなど応援している。 		<ul style="list-style-type: none"> タブレットをもっと効率よく活用して個々に合った学力を育む方法をとってほしい。 教科書の進みが悪い。子ども1人1人に合わせたものにしてほしい。 学力が平均的であればいいですが。 4年生になり、クラス全体が荒れ、学力が低下した。 今の子ども達は、1人1人に合った教育が必要だと思います。どうして内容を見直さないのかと思います。 学校は、ありがたいと思っています。 学習の遅れている子への対処。 教育に対する支援、お金をもう少しかけても良いと感じる。
2 人間性、社会性を育むための教育内容	<ul style="list-style-type: none"> 保育園で色々学んでくれるようで、家で教えてくれます。 	<ul style="list-style-type: none"> 孫には友達がたくさんいて、人間性社会性が育っているとと思う。 全員大人なので人間性、社会性を教育している。 子どもたちは、このコロナ禍の中、地域や社会との関わりが少なく、学校内と家庭内のみで暮らしてばかり。学力はそれなりに身につけると思われるが、社会で豊かに生きる術を身につけることが出来ないことが残念である。また、子どもたちが夢を持って生きられるような大人社会づくりが最大の課題だ。 	<ul style="list-style-type: none"> 1クラスの生徒数が多い。教室が狭い。 規則で縛るのではなく、生徒と先生でもっと話し合い、考え方のすり合わせをしてほしい。 子ども同士のトラブルがあった時の原因究明が不十分。 学校の中だけでは学べないと思います。 感情のコントロールができていない人が多い(ニュアスを見ていて思う)。
3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の振興を増やしてほしい。 今後、部活動は地域に移すと言われている中、町村では指導者の確保が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> 子の健康状態に応じて柔軟に対応して頂いている。 学校任せにしないで県でもっと自由に幅広く学べる機会や場所などを考えて頂けたらと思います。不登校者の人数の報告などで学校の評価はしてほしくないです。今ではなく将来自立のためにできることを親子と一緒に考えていけるような学校であってほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 活発な部活動がどうしてできているか理解不明。 沿岸地域に体育施設が少なく感じる。 少子化で部活動の種類が少ない。
4 不登校やいじめなどへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にいじめアンケート、聞きとりがある。 活動の中で感じる。 一番はいじめは、徹底して撲滅させてもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育が行き届いていない。 解決したかはいかには別として話を聞いてくれる環境ではある。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善の方向に向っていない気がする(先生が少ない)。 陰口を言う子ども、ウソをつく子どもなど先生に見つ

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<p>す。いつの時代もいじめはありますがいじめ方はひどいし、いじめられているからと助ける子どもは今はいません。いじめがでたら教育委員会、学校の先生は真剣に立ち向かってもらいたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> しっかりと学校がやっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 昔より今の方が教育が進んでいると思う いじめなどは、“ない”と学校側は言ったとしても絶対にあると思います。 	<p>かりにくい。悪い子どもへの対応が不十分だと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達の環境は親、大人の責任だと思います(育て方のサポートが少なすぎる)。赤ちゃんの時からサポートが大事。親の支援、教育、コミュニケーション能力の学び場がない! 地域にある小学校は小規模校で、友達が少ない。 不登校の子がいるが、どうアドバイスしていいのかわからない。
5 学校の選択の幅(高校、大学など)	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援の選択肢の少なさ。 各学校の魅力。 地元には普通高校1校のみ、高校から他市町村に入学させると大学までの資金がなくなり、高等教育を受けさせることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 内申点という時点で、落ちこぼれが早々に生まれてしまう。 高校進学の進路選択の幅は、狭いと感じた。 通える学校が少ない。数も少ないうえに、交通面でも不便。 経済的理由により子どもが通いたいと言う学校に通わせられない現実があると思う(選択の幅はあると思うが)。 	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭の選択によると思うが、金銭面であきらめざるを得ないのが現実と思う。 選択の幅が狭く、特徴がない(赤りが無い)。 進学のため地元を離れなければならない。
6 図書館や科学館などの充実	<ul style="list-style-type: none"> 図書館はとも利用しやすい。 子どもが好きな本が制限なく借りられるのは助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 県立図書館を利用しています。 本を好きなだけ借りられるから。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は、場所が悪く感じます。身近ではない。 昔、盛岡に住んでいた時は、県立図書館にも行きやすかったが、遠くなった上に駐車料金までかかってしまうのは、いかなる物か。利用しやすくなるような仕組みを整えてもらいたい。 地域社会の歴史などに触れ合う機会が少ない。
7 学校教育における地域学習	<ul style="list-style-type: none"> 地域が子どもとの関わりの機会を多くとってくれる。 		
8 地域での教育・学び		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、地域の活動の場が少なくなっているのが残念です。 	
9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)		<ul style="list-style-type: none"> 子どもは全員、就職しているため。 子どもは全員嫁いだ。 子どもは成人して別所帯。孫に関わりがある。 今は子育てに関わっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関わっていないし、近所にいる子ども達に会う機会が少ない。
10 その他()	<ul style="list-style-type: none"> 教師の事務的、雑用(書類作り等)が多く、子どもとの関わりが減っている。 ネットの普及で人との関わり方が難しい。 子ども数で学校の統合、閉校に不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> スローペースな子のことも認めてほしい。子どもによって成長のペースが違うことに対応できていない。 自分の子どもは成人し、社会人となっているが孫が就学していないため、現実的な事がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の負担が多すぎる。 対象の子どもがいない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<ul style="list-style-type: none"> 様々な催しや講座が開設されても、親などの送迎ありきで、参加できない。子どもだけでそこに行けないことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 土日の教室があまりない。 コロナ禍で学生のオンライン授業の重要性が言われていますが、子どもが1人で家で学習することの不安、危険性を痛感しています。オンライン授業は非常時の際に重要であると思います。しかし、対人・集団で学び得る事は多大であると思うので、とても不安を感じます。 	
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> (1.2.3)学校の先生方には親身になって良くしていただいていると思います。 (2.3)保育園にて教育されていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> (1.2)小学校や中学校の先生は一生懸命にしていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> (1.2.7.8)学力を育むのは当たり前だが、地域学習、教育、学びも重要で最も重要な人間性、社会性にもつながっていると思います。地域の歴史や文化を学び、誇りに思ってもらえれば、子ども達が地元に残ったり、戻ってきて、少子高齢化を食い止める事が期待できると思うので、過疎化、限界集落対策としても、地域学習について県として力を入れて欲しいです。 (3.5)部活動や、大学選択肢が限定される傾向にある。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(6) 住まいの快適

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)	<ul style="list-style-type: none"> 祖父の家に住まわせてもらっているため、夫婦2人だと広い。 一階は5部屋、二階は7部屋かなりの広さです(自宅)。 大人3人に対して広すぎず。家族が減ったため。 延床面積が狭くて、部屋が狭く感じること。 	<ul style="list-style-type: none"> 二人で住むのには充分な広さがある。 借家から一戸建てを購入。 家族が増えたことで手狭になった。 広さはあるが自分の部屋が欲しい。 建ててまだ5年ですが住みやすい街です。 広くはないが、わが家の経済的には、相応。 ＊あと1部屋欲しいな… 駐車場も広く、室内数も多い。 昔の間取りで使わない部屋が無駄に感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもがいると今のところは少し狭い。 1人暮らしには広すぎず。 田舎ではありますが、のんびりと暮らせる広さがい い。 収納場所が少ない。 昔風にて、寒い。 老夫婦には充分の広さだから。住みなれたから。
2 居住形態(持ち家か借家か)	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税が安い。 二世帯住宅にしている。 家のローンも終わっている。 特持家なので暮らすには十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 4人家族で3LDK。 持ち家。 持ち家。 家のローンが終了した。 持ち家。 持ち家。 持ち家である。 持ち家で好きな事をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家賃の相場が高め。 市内から距離がある。
3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	<ul style="list-style-type: none"> 祖父の家に住まわせてもらっているため、築80年位の家なので、天井が高く冬は寒いし、今年の冬は特に燃費代が高いためキツイ。 今回の日本海溝・千島海溝で新たに浸水区域に含まれたが、大雨・洪水等からは守られる場所であり、一応安心している。 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーが充実。 耐震が心配。 家も年数が古いと周りの空き地が増え天候により洪水になる危険があり不安。 安全性高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 古いため耐震性に不安あり。 震災後求めた中古住宅のため最低限のリフォームはしたものの安全性については少し不安がある。 震災にて地盤沈下、家が隙間だらけ。 少し老朽化。
4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	<ul style="list-style-type: none"> 築80年位の家なので、台所など、家の中が暗い。屋間でも電氣をつけないとダメなところ。 築年数が古いため、夏は暑い、冬は寒い。 住宅の内外に手すりをつけ高齢者、介護支援者のため利便性を計っている。 3年前に自宅を建て替えたので快適である。ただし、公共交通機関の利便性は無く、一番近いスーパーにタクシーで行くと2,000円位になる。 全館空調のおかげで家の中は過ごしやすい。 新しいアパートに住んでいるため。 室内の温度が一定している。 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーになっている。 マンション住まいのため、機密性が高く快適である。 断熱剤を使った、暖かい家に住みたいです。 住宅のバリアフリー。 築25年なので、今の住宅と違い、だいぶ、外の温度に左右されやすい。冬は特に寒い。 寒い、暑い、と思う事もあるが、借家の頃よりは、はるかに改善した。 夏、冬は部屋の温度差が大きい。 家が古いので、暖房の効率が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> マンションにも関わらず寒過ぎ。寒冷地対策、対応をオーナーに対して規準を設けるべき。 住宅の一部が古いため。 全館暖房にして快適であったが、熱源を電気にしたこと、電力事情が変わった現在電気の負担が非常に大きくなりまた温暖化防止の点からも悩んでいるところ。 構造上冷暖房設備の設置が難しい部屋が多い。 断熱性に乏しく、冬季寒い。 高齢の姑もいるのでバリアフリーも考えていかなければならないのかもしれない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
5 立地の利便性 (スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	<ul style="list-style-type: none"> スーパー、コンビニが近い。 生活圏内、徒歩圏内に店舗、金融機関、公共施設があり、住みやすさを感じている。 スーパー、コンビニ、公共施設、病院、全てある。 色々な面で非常に良好な環境にあります！ 近くになんでもそろっている。 近くにコンビニなど(ガソリンスタンド・病院・食堂)ある。 距離が近い(徒歩圏内)。 近くにスーパー、コンビニ等あるため、今は充分。 バイパス通りに住んでいるのでコンビニ、スーパー学校近くにある。 医療機関、ドラッグストア等有り便利な所です。 利便である。 スーパーや医療機関が近い。 近くにスーパー、医療機関が無いこと。 車を利用しないと、歩きでは遠すぎます。 ほぼそろっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全館空調の持ち家。 2階建ての住宅ですが、1階に寝室がないので老後が不安。 現在の私の身体障害に十分なバリアフリー。 持ち家(50年以上)が古く夏は暑く、冬は寒い。 古家のため。 上、下水道なく健康、衛生が心配。 冬の室内の温度差が激しい。寒さが厳しい。 近くにコンビニ、医療機関等があり生活には便利である。 近くにあった小さな店が全て無くなり老化に従い不便になった。 町中に住んでいるため、各種の施設、機関から利便が良い。 スーパーは近くにたくさんあります。 スーパー、コンビニが近くにある。 徒歩5分圏内コンビニ、ホームセンターがあることにより買い物がしやすい。インターチェンジに近いことから外出の際の自家用利用には利便性が良い。 歩いて買い物に行けるスーパーがない。 近くのコンビニが撤退。近くも2km歩く。 渋滞なども少なく、生活の利便性は良いと感じる。 近くに店舗、病院がある。 歩いて行ける範囲内に住んでいる。 日常生活用品などは買いに行くのに遠い。 駅、スーパー、病院が近くにあり、歩徒で行ける。 現在は車を使用しているが、この先、不便さを感じる。 買い物できる所が4~5km先なので老後が不安。 距離が遠い。 車で買物に行く必要がある。 全て車が必要。 いずれも徒歩5~10分程度である。 近くに店がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 実感50年、2人共高齢となり、バリアフリー化を考えると考えれば生活が厳しく思われる。 バリアフリーではない。
6 公共交通機関の利便性	<ul style="list-style-type: none"> バス停が近い。 すぐそばに大きな公園ある。 	<ul style="list-style-type: none"> 運転できなくなると、公共の機関が利用しにくい(バス停が遠い)。 	<ul style="list-style-type: none"> 徒歩圏内に店舗が無い。 美家周辺にスーパーがなく、親が心配。 利便性は不便ですが今は車があるから大丈夫ですが将来は少し心配。 どこに行くにも車無しでは移動できない。 徒歩10分以内にスーパー等がない。 立地弱者(高齢化)。 過疎地に近いところに住んでいるため利便性は低い。 車が無いと大変不便。 スーパー、医療機関までの交通が大変。 少ない。
			<ul style="list-style-type: none"> バスの路線が減ってしまい不便。 定期バスが廃止になったので車が運転出来なくな

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<ul style="list-style-type: none"> • 自家用車が無くなくても、電車や、バスが利用できる。 • 駅が近い。 • 車が無いと生活できない。 • 近くにバス以外の公共交通機関が無い。 • 公共機関は廃止となり、車だけが頼りの状態です。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分はバス利用の利便性が良いところに住んでいるが、全体(県)としては、バス(タクシーなども)の利便性があまり良くない。車の運転ができない人が弱者になっている。 • 公共交通機関(バス)本数が少ない。 • 自由に動く事が出来ない。老人の「ひきこもり」化。 • 駅も、タクシーも歩いていける。 • 駅に近いので新幹線やバス、タクシーの利便が良い。 • 利便性が悪い。 • 回数が少ない。 • 公共のバスの運行。 • 自家用車が無いと通勤できない。 • 公園もくつろげない。 • 安心して過ごせる公園がない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 実感低下 • たら大変。 • 電車、バスとにかく不便。 • JR岩泉線が廃止され盛岡まではバスで2時間。道路改良が望まれる。 • もっと本数があれば利用回数も増やせる。 • 高齢者は大変だと思う。
7 公園・緑地、水辺などの周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> • 歩いていける距離にそろうている。 • 県立運動公園が近くにある。 • 公園などあり(大きい)。 • 子どもの通う学校が近い。 • 公園、緑地、水辺等田舎なのでまあある。 • 道路のきれいさ。 	<ul style="list-style-type: none"> • 公園もくつろげない。 • 安心して過ごせる公園がない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 公園整備は不十分。
8 周辺地域の街並み		<ul style="list-style-type: none"> • 自然に囲まれている。 	
9 周辺地域の治安	<ul style="list-style-type: none"> • 特に問題と感ずることがない。 • 治安がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 近所には空き家があり、独居の方も多。 	
10 近隣の生活音		<ul style="list-style-type: none"> • 周囲が田畑で静かなのがいい。 • 宅地、商業地のため、早くから運くまで「うるさい」、ゴミも「ちらす」。 	<ul style="list-style-type: none"> • アパート1階在住。2階住人うるさく休まらない。 • 大きい道路に接しているので、まあ仕方はない。
11 近隣の生活臭	<ul style="list-style-type: none"> • プロイラーが近くにあるので窓が開けられない。(夏でも)外に洗濯物が干せません。 	<ul style="list-style-type: none"> • 住まいには、立地、治安、利便性等で快適さを感じるがただ一つ、近隣の工場で出す臭いには不快を通り越した感情をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 家のまわりにある側溝がにおうため、夏に窓をあけたくない。 • 野焼きが行われている。 • 工場が近く干し物できず。 • とりのネコがいっぱい。
12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)			
13 その他()	<ul style="list-style-type: none"> • 近所付き合いがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 近くに病院が無く、不安を感じる。 • 快適に暮らしているが、雑草には勝てない。 • 家賃が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> • オール電家なので電気代が高すぎて節電しにく。 • 冬寒い。 • 住宅の老朽化。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> (-) 立地的に買い物には不便だが、車があるので不便は感じない。 (-) 車がないと外出できない(バス、電車を利用できない)。 (-) 静かで何も無くない所(田舎町)。 (-) 賃貸アパートで不便はない。 (2.4) 自宅であり冬は暖かい。 (2.9,13) 田舎に住むには一番いいと思います。洪水は心配ですが... (4.5,6,9) 20年先を考えると不安になる(今は車で行動ができていますから)。 (6.8) 災害・復旧したエリアに住んでいるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 三陸道の側なので騒音で悩んでいる。 家を建てるときに詐欺にあった。5年かかって解決しました。 家の機能設備に不満がある。 (-) 震災で街並み、近隣との関わりが全く変わり、それと共に家族が欠け親せきも遠くに移住などしてしまい、人のつながりなどで変わりがすぎでしまい快適さに欠けすぎてしまっていると感じている。今、住んでいる部屋(アパート)の間取りも使いづらい。 (-) 安心して生活している。 (-) 震災後自宅再建したため、津波には安全。ただ将来車が利用できなくなると、公共交通機関は頼りない。 (-) 東日本大震災で、家も車も全て流したが、家族は全員各々の場所で運良く無事だったので、あ後は特に、家族の結束が強くなったように思う。 (1.2) 持ち家、二世帯で家族が助けあって生活している。 (1.2) アパート住まいで子育て中のため土地をさがしているが、人口減少している割に田舎には土地を手放さない人が多いのが現状。 (1.2,3,4) 快適に過ごしています (1.4) 古民家にて掃除(ガラス戸)が大変。夏は良いが冬は寒いので灯油代がかかる。 (10.1) 隣の人がネコを飼って野放し。 (2,3,4) 2、3は安心できる。4の今後の光熱費アップには不安。 (3.4) 住宅の老朽化。子どもの学費で修繕までまわらない。 (3.4) 古い家なので各所に痛みが激しい。 (3.4,10) 建物も古くなっているし、車が無いと生活できない。ただ周りに家が無いので静かに過ごせる。 (4.5,9) 借家だが、立地や機能性等は良く満足している。 (5.6) 自家用車がなければ、移動困難。最寄り駅まで4~5km。公共交通機関が無い。 	<ul style="list-style-type: none"> もう少し地域の方々と話せたらと思う。行政と考えることが大切かと。 家賃が高すぎる(収入による)。 特に無いが1人暮らし。 (-) 除雪作業が大変です (-) シングルで家賃と広さを選ぶ限界がある(いろいろ高すぎる)。南海トラフの影響がどうなるか心配。 (2,3,4,5,6) 寒いとき冬は凍って歩けない。 (3,4,5) 山の中にある一軒屋、持ち家だけど、古い家。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		<ul style="list-style-type: none"> • (5.6)車の運転の出来るうちはいいが、その後が心配。 • (9.10)治安が良い、静か。 	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(7) 地域社会とのつながり

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
<p>1 その地域で過ごした年数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 私の親の代から住んでいる。子どもの頃からの友達が多い。 転居してきてまだ1年なので、これから色々な行事に参加していきたいと思う。 10年以上住んでいるので。 生まれてから今までずっと同じ町内に住んでいるので知人が多い。 生まれ育った所より今の所が長くなり、回りの人達との交流が多くなったことです。気にかけて頂く事に感謝です。 この地で生まれ育ち 78 年。 	<ul style="list-style-type: none"> 60 年。 45 年。 嫁として 60 年。 50 年以上居住。 24 年。 40 年以上。 30 年。 40 年。 現在地で 60 年の生活、各種行事への参加。 79 年。 60 年。 	<ul style="list-style-type: none"> 住んでから5年、年齢差も有り交流できていない。 25 年。 まだ1年しか過ごしていないため。
<p>2 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町内会活動へ参加している（今はコロナのため、新年会、敬老会などが開けない）。 仕事のため中々、町内活動などに参加出来ない。 今のところ自治会や町内会活動には参加できていない。いずれは参加したい。 自治会役員として、参加している。 今年初めて消防訓練に参加しました。係も担当しました。 若者が少ないので参加は必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅のため隣近所付き合いが無い。 廃品回収等。 ゴミステーションをいつもキレイにしてくれている。 町内会の役員、消防団員。 自治会で町内会長をしたので全員が集まるように努力している。 自治会長として活動を行っているがコロナにより地域の交流機会が無い(少ない)ことが懸念される。 除雪ボランティア、老人クラブ参加。 防犯、衛生。 地域行事も下水掃除を年2回程度で荷重になる事もなく顔見知りです。いい感じの距離感で生活できています。 自治会の役員。 役員だけで多くの事をやっていると感ずる。 町内は高齢化となり、町内会活動は休止状態です。 仕事をしているので町内会の活動には参加しない。 自治会の役員をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 最低限の付き合いしかしていません。 コロナで地域の行事が中止になったこと。 コロナによる制限が多く、機会が少なかつた。 引越した先がアパートだから、特に情報が入ってこない。 行事が全くな状態。お掃除くらいは地域でやる。立ち話などせずマスクしたまま、目だけ見る。 移住者には参加を気負いする。 コロナのため活動の参加が減少している。 主に主人が参加している。
<p>3 地域の行事への参加（お祭り、スポーツ大会など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行事に参加できる時はしている。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツのコーチを 10 年以上しているが、市内の子どもたちが少しでも希望をもって前へ進んでほしい。 地域神社の氏子。 	<ul style="list-style-type: none"> いつも参加する人は、決まっています。方達で主導権を持っている 祭りに、子ども会などで強制的に参加しなくて良くなつた。時間的にも経済的にも楽になった。地域との

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
4 学校・子ども会の活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の子ども会の時は負担が大きいが、それ以外の時は交流が少なくない。負担が生じないような、ちよど良いつながりができるのが理想。 教員として、地域との交流。 子どもが大きくなれば参加はできない。12年読み聞かせは毎月小学校に行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 従来からの祭り、スポーツ会が縮小傾向にあって参加機会がない。 行事、草刈り、ゴミ拾い、会合に私に参加せず親が参加しているため。 サロン会に出席(地域の老人会)。 	<ul style="list-style-type: none"> つながりは減ったと感じる。それが、良いか悪いかは、今のところわからない。 コロナで行事が無い。 コロナによる制限が多く、機会が少なかった。 コロナによる活動、行事の縮小。 地域の行事への参加の仕方がわからないこと。 職場で主催して地元でイベントを行っている。 地域のお祭りもお休み、子どもを育てながら行事参加はとても大変だったがその頃がともなつかしいとして楽しかった。
5 隣近所との面識・交流	<ul style="list-style-type: none"> 老人会の活動に参加している。 年配の方が多いため、会うと会話などはするが、交流とまではいかない。 マンション住民同志の声がけはできている。 まだ5年ですがコロナ禍もあり隣近所と交流しておられません。 どこに誰が住んで居るか周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ会員として学校の環境整備等にも参加している。 地域の体育部に参加しています。 あり。 学校行事に招待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会の行事が行われていないため。 コロナによる制限が多く、機会が少なかった。 コロナで全く無くなった。
6 地域における趣味・スポーツなどを通じた交流(スポーツ少年団、公民館講座等)	<ul style="list-style-type: none"> 親しく話をする人がほんの2~3人、少なすぎる。 40年住んでいるので、近所の人との交流はあります。 近所との付き合いがある。 コロナ過になってから挨拶等は変わりが無いが皆が集っての、飲会等の機会がなくなりました。 近所の挨拶、会話があるだけ幸せと思う。 挨拶と会話がある。 地域の人達が見守っていて下さる感じがする。 周りの人との会話。 人付き合いは苦手な方なので…。 町内会へ参加不安。 あり。 挨拶をしても無視される。 	<ul style="list-style-type: none"> 親しく話をする人がほんの2~3人、少なすぎる。 40年住んでいるので、近所の人との交流はあります。 近所との付き合いがある。 コロナ過になってから挨拶等は変わりが無いが皆が集っての、飲会等の機会がなくなりました。 近所の挨拶、会話があるだけ幸せと思う。 挨拶と会話がある。 地域の人達が見守っていて下さる感じがする。 周りの人との会話。 人付き合いは苦手な方なので…。 町内会へ参加不安。 あり。 挨拶をしても無視される。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流が子どもが成長したら無くなった。 近所の方と、日々の挨拶や会話が、時々ある事がありがたいと感じる。 平成の初め頃から家が建ち、現在は多くなって来たが、地域社会とのつながりは希薄である。 子育てが終わると、近隣との付き合いも疎遠になってきた。 あまり交流したくない気持ちがある。 都会で生活したことのない人には理解できないんじゃないかな？考え方も違う。 今はコロナ禍だから。 隣近所との交流があまり無いこと。 ほとんどありません。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
7 民生委員や見守り活動を行う方等の訪問		<ul style="list-style-type: none"> 私も民生委員です。3年間老人クラブ活動は、減少し、バス旅行もしていません。 6年間、民生委員をしていました。 民生委員の訪問は無い。 民生委員の訪問一度も無い。 単身赴任中で地域とのつながりが無い。 出来るだけ接する様になっているが、「さびしい」態度が多い。 十分ある。 ボランティア(月1~2回)。 	
8 地域の身近な情報に接する機会	<ul style="list-style-type: none"> 町内会便りが毎回届くので助かっている。 近所の方々との助け合い。 あまり人と会う機会がないので身近なことがわからない。 情報交換する場がない。 まちおこし活動に参加。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の身近な情報に接する機会が無いこと。 山の中の一軒屋なので、近所もなく、隣近所との面識、交流なし。
9 その他()		<ul style="list-style-type: none"> 特にない。 身体障害者なので、参加しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族からたまに聞く程度なので、あまりわからないう。コロナで活動が減ったみたい。 年齢的に参加していない。 コロナでほとんど行事が無くなった。 コロナ禍の中、地域活動中止が多く、行政区の総会も、資料が閲覧板でくるので。 地域に関わる事がほとんど無い。 地域活動の参加の負担。 田舎は人が少ないので活動参加を強いられる。 小さい部落なので私は地元の人でないので、話が合わないし助け合いを感じない。
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> (1.5) 地域に30年以上暮らし隣近所の方と話すことが多い。 (2.3) 古い活動、行事を維持することばかりで、今、必要かを考えないで一部の人達しかつなげがってない。 (2.3) 子どもが小さいこともあり、地域活動への参加はまだまだないため。 	<ul style="list-style-type: none"> (-)ここ2、3年はコロナのため町内の行事は全て中止になって出来ない状態です。 (-)全ての行事に参加するようにしている。 (-)東日本大震災後、この土地を買い小さい二階建ての家を建て暮らしている。町内会活動、地域の行事には積極的に参加。自分達の出来ることは協力し、隣近所ともつかず離れずの関係で気持ち良く暮らしている。 (-)コロナ禍での活動が制限されているため。 (1.5) 近所の人の顔や名前があまりわからない。あまり話したことがない。 (2.3) コロナのため、町内・地域活動が停止状態。 (2.5) 色々参加出来ている。 (5.8) 地域活動に全く関わることがない。知っている 	<ul style="list-style-type: none"> (-)コロナ禍で行事や交流が無くなり地域社会とのつながりが無くなったため。 (-)引越したのが1年になるのでまだ地域になじめない。 (-)近所付き合いなどがほとんど無く、地域でなんの活動が行われているかも分からない。 (1.5) 引越してまだ3ヶ月なので。 (3.4) コロナ禍で活動の場が少なくなつて、触れあう機会が少なくなつたのが残念です。 (3.4) コロナなのでしようがない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		<p>人がいない</p> <ul style="list-style-type: none"> • (5.8)日中、仕事で留守のため、近所の方との交流が少ない。 • (1.2.3)長年住んでいるので地域に愛着がありません。コロナでなかなか通常の活動が出来ていないので、今年こそはと思います。 • (1.2.3.5)①40年以上居住中、②町内会活動の参加、③市内の行事への参加、⑤交流有り。 • (1.2.3.5.6.7)小・中学校の町内子ども会の会長を経て、町内役員も10年程やり、今は老人クラブの事務局長をしています。地域とのつながりは多いです。 • (1.4)生まれ育った地域なので知り合いが多く安心。 • (2.3)参加するのは親なので、自分には出席しないので…。 • (2.3.7)「おしつけ」は、いらぬ。寄り添う気持ちが無い。 • (2.5)町内会活動に参加することで、古くから住んでいる方々とも話をする機会が増え声をかけてもらったり、いろいろ教えてもらえるようになった。 • (3.5)夏祭り、運動会、新年会などすべてがコロナのために実施されていない。 	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(8) 地域の安全

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 犯罪の発生状況	<ul style="list-style-type: none"> ヤンキー達もいないし夜静か。 犯罪は無いです。 不審者が多い。 今まではない あまり犯罪を聞かない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で犯罪等の発生を見聞きすることがないため。 町内会発足以来犯罪発生がありません！ 話を聞いた事が無い。 犯罪少ない。 犯罪の話をあまり聞かない。 犯罪は少ない。 治安が良い。 犯罪件数が少ない。 治安が良い。 暮らしやすい町と感じる。独居の方への声かけは行政、地域で見守りしながら行われている。 小さな事かもしれませんが大切に育てている花を盗まれました。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関のガラスを割っている犯人と対面したことがあるから。 軽犯罪(ゴミ投棄等)。 不審者情報が発している。 昨年、車の中に置いておいた現金の窃盗を受けた。
2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	<ul style="list-style-type: none"> 登校時に近所の方がパトロールしてくれている。 防犯パトロールが実施されている。出来ればカメラ等の設置があれば良いのだが。 	<ul style="list-style-type: none"> 警察官がたまに気がかり等を聞きにきてくれる。 年配の方が多し所々もあるので、防犯パトロール、防犯カメラなどあればなお良い。 町内会でパトロール等をしていきます。 パトカーの巡回をよく目にする。 道を歩いている人が少ない。子どもの登下校時の見守りがほとんどいない。 地域内での犯罪もなく、情報連絡網もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 宮古盛岡横断道路開通直後は交通量も減り静かである安心していますがここに来て、夜間のカーチェイスでうるさく寝られないことが多くなってきました。また、ゴミの不法投棄で地域の方々が困っています。 静かではあるが夜間など怖いと感じる事がある。
3 交通事故の発生状況		<ul style="list-style-type: none"> 話を聞いた事が無い。 事故多い。 火災の発生もある事はあるが、安全なほうである。 頻繁ではないが死亡事故発生。小さい事故が多い。 最近、交通事故の発生状況が多いこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 国道4号線事故が多い。 新しくバイパスが出来たので渋滞しにくくなりましたが走りやすくなった分スピードを出す車も増えたので違反車両も以前より増えたと思います。直進車優先なのに、強引に右折、左折してくる車両が増えた。
4 交通事故の防止(歩道の整備など)	<ul style="list-style-type: none"> 道路が狭く学校があり車がとばして走る。 横断歩道や歩道が不十分。 小学生の通学路に歩道が無い所がある。 道幅も狭く、信号も無いので子ども達の通学路にはパトロール隊が出ています。 	<ul style="list-style-type: none"> 住んでいる所では、歩道が無く、特に冬は雪が降ると歩く所が狭くてあぶない。 全て町内の歩道はバリアフリーです。 住んでいる所から歩いて 300m位の所にコンビニがあり、車の返納を考えている事。 特に対策が取られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 通行道の道幅が狭く歩行者危険。 信号、街灯不足。 宅地域内での車の速度は、人によるが危険と思う。 車道歩道の区分がついていない所が多い。 通学路の歩道の整備が不十分。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		<ul style="list-style-type: none"> 白線が消えかけているので整備してもらえたらうれしい。 歩道の整備が進まないのはずっとです。 横断歩道がない。混雑した道路を渡れない。道路自体がガタガタで危ない。 国道106号は、自動車道と一般道をすっきり分けてほしい。併用なので、スピード感覚がおかしくなる。 犯罪がない。 飲酒運転では？と思われる車を目撃したり、高齢運転手など危険だと思ったことがある。 子どもたちを自家用車で送り迎えしているが、都合により、時々、歩いて帰らせることもあるが、歩道の整備など、もう少し。 	
5 火災の発生状況		<ul style="list-style-type: none"> 話しを聞いた事が無い。 消防団に加入しているので…。 市の消防署が近場にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道がない。
6 火災に対する予防(消火栓の設置など)			
7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故、火災も無く平和な町内会です。 体制が充実。 地域で自主防災組織があり、年に1回消防訓練等をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団(団員不足)。 地域に消防団屯所があり、身近な人達が火災があると消防団員として出動してくれる。 消防団に加入しているので…。 古い体制をどうして続けるのかと思う。婦人消防は議論中。 地域で消防団が一生懸命活動してくれている。 高齢化に伴う町内協力体制が希薄。 町の防災体制や避難場所等の広報があり安心である。 地域防災組織もあり、今まで災害発生は無い。 地域の防災体制が整っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の減少。
8 自然災害の発生状況	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害が起こっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 水害などの危険マップを広く知らせてほしい。 今の所、災害は少ないが、油断はできず、地域ぐるみで備えが必要だと思う。 自然災害がほぼ無い。 災害発生が無い。 内陸のため、津波の心配がないだけで安全だと感 	<ul style="list-style-type: none"> 裏山にメガソーラーの設置問題。 以前より、大雨になる事が多くなかった気がする。不安を感じる事もある。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	<ul style="list-style-type: none"> 大雨等の避難所が橋を渡らなければいけないのは疑問です。 堤防の建設は少しずつ行っている。 	<p>じまず。3.11 を経験したため。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅が高台にあり津波避難など心配無い(土砂崩れは心配)。 津波の浸水想定区域内だから。 周囲の建物空き地の変化。 自然災害の発生しにくい地域です。 色々の面で我が家は山、川、海無くないのかと。 大雨で川の氾濫がちよちよよく起きている。近年増えている。 河川近くに住居が有り、水害が心配。 災害だけはいつ起こるかわからないのでその点だけは不安。 	<ul style="list-style-type: none"> 北上川沿いに居住、護岸工事、河川敷管理が不十分。年々荒れて手がかけられていない。地形も変化している心配。 土砂崩れの不安と隣合わせ。
10 災害に対する行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興策など)	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線の発信で知らせてもらって助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> 岩手山のハザードマップぎりぎりに住んでいるため。 自然災害の避難経路を分かりやすいように表示する。 日本・千島海溝沿い地震津波に起因する浸水域になっているが、避難するとしてもその場所が十分でないこと。自宅外を想定しても十分な避難場所の整備がなされておらず、不安ばかり。東日本大震災を経験しているだけに不安はつきない。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災放送が地域の端には聞こえていない。
11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)			
12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、	<ul style="list-style-type: none"> 徹底している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワクチンの強制には脅威を感じる。行き過ぎた管理監視社会にはならない。 コロナだというのに、いまだに、ゴミ集積所の収集されなかった他人のゴミを分別して、片付けるという、 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症が怖いから。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
予防策に関する知識の普及啓発など)		<p>地域の班での当番がある。非常に危険だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 感染予防に対して、市は、しっかりやっている。 • 今は、どのようにするのかよくわからない。飲み会も増えている。 • コロナ感染、地域内の状態不明(TVのみの情報)。 • コロナの感染拡大が一向に止まらないが、個人情報問題もあろうが、3年も経つと人々の気も緩み、防止策が徹底されていないと感じる。 • 不安を感じなくなった。 • 感染症の予防は、広報などで発信されているので十分。 	<p>実感低下</p>
13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	<ul style="list-style-type: none"> • 通学路のトンネルが老朽化している。 • あまり進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 下水道が心配である。土砂崩れも心配、豪雨災害とか。 • 先日、近所で、地下の水道管が破損して断水した事があったので、不安はある。 • 水道メーター機の取替、老朽化した下水の取替等々順次行われている。 • もっと、橋、道路などの老朽化しているところを直して欲しい。 • 坂道に手すりなし。高齢者は歩行難儀(歩道も無し)。 	<ul style="list-style-type: none"> • JR線路管理が不十分。踏切の見通しも悪くて事故心配(草のため)。 • 橋やトンネルが古くなって壊れないように点検整備をお願いします。 • 道が狭い、街灯が少ない。 • 街灯が足りない。 • 水路が氾濫しやすい。
14 地域の安全に関心がない			
15 その他()	<ul style="list-style-type: none"> • 家の前の国道に横断歩道があるが、渡ろうと思っても停まる車が多すぎる。イノシシ、鹿が増えている。 • 野生動物が増えている。イノシシ、鹿が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 家の周りが夜になると、真っ暗になるので、人や動物がいきなり来たらと思うと怖い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 現在区画整理中で、町内活動はほとんどなしです。 • 熊やイノシシがよく出没するので心配です。 • 自宅にソーラーの会社や、色んな物を回収する業者からTELや訪問が来る。 • 安心安全の近所だから。 • 近くの道路の街灯がなく、暗いため安全性がない。 • (-)冬場の道路状況。 • (1,3,8)何かがあるから分らない世の中と感じる。 • (6,7)消防団に毎年支出しているが、何をしていたか判らない。 • (9,10)水害や津波などの予防や防災対策にやや不安を感じる。
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> • (1,3,5)旧市街地であり、安全性は高いと思っています。ただし、近年、線状降水帯による大雨が心配です。 • (13,14)1人暮らしなで家の中に居る。 	<ul style="list-style-type: none"> • (-)危険と感じた事はない。 • (-)何か事件が発生するまでは皆さん安全・安心だと思っています。 • (-)毎日の暮らしに不安無く過している。 • (1,2,7,9)60 世帯の小さな地域なので体制はしっかりしていると思う。 • (1,3,15)油断は出来ませんが、一番の脅威は獣で 	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (1.5.6.8)心配は無い。 • (9.10)東日本大震災後の(堤防の建設など)災害に対する予防は、たぶん確保されていると感じる。油断はしていない事は大事！！ • (1.3.5.8)近隣において要因の番号の事象を起きたのを、聞いたことがない。 • (1.5)近くに警察署と消防署が有り交通事故、火災、振り込み詐欺等望楼から放送されるので気をつけております。 	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(9) 仕事のやりがい

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
<p>1 現在の職種・業務の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 時間数が調度良い。飲食業。 • 主人の介護のため、昨年転職しましたが、時給は最低賃金だけど、仕事内容はやりがいを感ずる。 • 季節雇用ではあるが、主要な立場のため。 • 自動車整備士。 • 社会への貢献できる仕事であること。 • 職種そのものには、卒業後から携わってきており、やりがいを感ずる。 • 未経験から数ヶ月教えてもらってできるようになったため。 • 公務員ですが、使命感を持って働いています。 • 今の仕事が好き。 • 60歳以降も私に合った職種で雇用してもらえらる。 • 飲食店の経営。 	<ul style="list-style-type: none"> • 何度転職しても、一番忙しい部署に変更されるから。 • 小売は楽しい。 • 職人。 • 自分の好きな仕事ができているため。 • 山ぶどうの栽培、加工販売。 • 自分のことを必要とされていることが実感できるから。 • 農家経営。 • 全体の仕事が一定の職員に偏っているうえに仕事量が少ない。 • 仕事を与えてもらえない。 • 事務パート。 • 育児時間がちゃんともうけられている。 • 自営はやるしかない！誰も助けてくれない。 • 消防士として住民の役に立っているとの思いからそう感じます。 • ほとんどの仕事に関することが私のところに回ってくる。 • 漁網縫製。 • 公共施設の維持管理業務であることにやりがいを感ずっている。 • 多少の水揚げでも夫婦協力での達成感。 • 放課後等デイサービスで指導員をしている。 • 稲作、果樹栽培。 • やりがいは感ずる。ただ、勤務時間内に仕事を終わらせるのが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 職種は好きだがアルバイトは不安が多い。 • 米作りは、米価が安く、肥料代が高く大変。やりがいは感ずられない。 • 実年齢にあった、体力的にあった仕事かと思っっています。 • 仕事といってもアルバイト的なもので、やりがいを感ずる境地にはならない。
<p>2 業種・業務の将来性</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 妻と2人でこなせる仕事量。 		<ul style="list-style-type: none"> • 農業(稲作のみ)。 • 最近では仕事の数が減ってきているので将来的が心配であること。
<p>3 就業形態(正規・非正規など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • パート。 • 正規かつ各制度が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 個人経営であるが仕事にやりがいを感ずっている。 • 正規はめったに切られないので精神的に安心して働ける。 • 正社員。 	<ul style="list-style-type: none"> • 非正規で収入が少なく期間もあるので不安。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
4 業務の量	<ul style="list-style-type: none"> 最低賃金です。 	<ul style="list-style-type: none"> 適量。 子育てでもあるので定時で退社したいが帰れない環境。 	
5 現在の収入・給料の額	<ul style="list-style-type: none"> 国家資格であるのに、他県と比較にならないほど、給料が安いと感じる。 収入が高いのはうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 正職員なのだが、最低賃金とあまり変わらない金額で雇用されている。 手取 14 万で暮らしていけない。 給料が少ない。 少ない。 就業日数が減ったが待遇を考慮してもらい、まあまあ満足。 	<ul style="list-style-type: none"> 収入が少ない。 ここ数年給料が上がらないのに同じ仕事量。 物価が上がっているのに給料の額が上がらないこと。 正社員からパートとなったが、経験から正社員並みの仕事内容をさせられている。収入以上の仕事をさせられている。 現在収入は少ないから不満です。かけもちしたくてもバイトでも雇用してくれるところがないです。 基本給が低い。ポーンナスがもう少し上がってほしい。 体調が良くないときの先の収入が不安(年齢的にも)。
6 将来の収入・給料の額の見込み		<ul style="list-style-type: none"> 収入が上がっても手取りが上がらない。 	
7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに係る休暇取得がとりやすい。 誕生日手当、趣味手当がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 福利厚生が充実していると感じる。 時間に自由がきく。 有休休暇を全て使わず、捨ててしまう。 収入が少ない。 会社の人間関係が悪すぎる。 	
8 現在の役職(職場での地位)			
9 将来の役職の見込み			
10 職場の人間関係		<ul style="list-style-type: none"> 年長者がやる気ない。 何でも相談できる。 人間関係は良好。 	<ul style="list-style-type: none"> 十人十色といったところか。他を知らないが、自分は満足できません。 職場での人間関係がうまくいっているかわからないこと。 冬場の通勤では渋滞が多い。
11 職場環境(オフィスの立地など)			
12 職種・業務に対する周囲の評価		<ul style="list-style-type: none"> 成果が得られている実感がある。 周囲の評価はまあまあ良好。 	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	<ul style="list-style-type: none"> 後継者がいないため、いつ廃業予定か不安。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨時のため、期限がある。 	
14 専業主婦・主夫、又は家事手伝いである			
15 元々仕事をしていない(学生など)			
16 以前仕事をしていたが、今はしていない	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを出産して体調を崩し仕事をやめた。 転職先が決まっているので、次こそは頑張りたい。 定年退職後、就職していたが、今はしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠をきっかけにほぼ出来なくなった。 以前仕事をしていた。足腰悪くなければ…。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在年金生活中。
17 その他()	<ul style="list-style-type: none"> 家業のため、仕事をやめなくてはいけない時期が来る事。 	<ul style="list-style-type: none"> 接客に気持ちが入らなくなっている。流れ作業になってしまふ。業務量が多いから。 以前は仕事していたけど現職時代から昔話の語り部をしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲からの評価ではなく、自己評価では低く、不安を感じる。 人手不足のため、仕事量が多いのとそのため、休みもとれない。
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> (-)転職していろいろ変化があったが、とりあえずとも充実している。 (1,10)家のそばで出来るので。 	<ul style="list-style-type: none"> (-)定年後のパート勤務なので、特に不満はありません。 (-)畑の草刈り等忙しく体を動かしている。 (1,3,4)サービスマン、1日 6.5時間×15日。 	<ul style="list-style-type: none"> (-)任期切れの不安。ワークライフバランスの実現。 (1,2)介護(訪問)の仕事をしているが人手不足で将来が心配と思う。 (1,2,3,4,5,6)ハードワーク、低収入。 (2,5)農業(稲作)の先行き不安。 (3,5)非正規なのに、正社員と同じ仕事量をこなしているのに、給料が上がらない。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(10) 必要な収入や所得

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
<p>1 自分の収入・所得額(年金を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 年金生活だけでは、生活が不安。 年金だけでは暮らしていけない。 主人の介護のため勤務時間を短くしないといけないため給料も少ない。 コロナ禍で収入が減り、経営が厳しい状態が続いている。 普通に給与もらえる。 収入の面では、まあ満足。生活出来ているのだから…。 満足している。 年金のみ。 前職より収入が増えたため。 上を見ればきりが無い。 年金生活で細々と最低の生活ではあるけれども毎日何とか暮らしている事を有り難いと思う。 周りに比べれば高い方だと思う。 自分の仕事内容で金額に満足している。 自分の年金で暮らしているから。 蓄えは子(2人)の教育費に使い、現在「0」。老母や自分等の葬儀費は現収入では賅うことが出来ず不安。 もう少し収入を上げるよう努力したい。 自分の年金は少ないのでどうにか間に合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人の何倍も働いているのに、生活できる収入にはならない。 予想していた額よりかなり少ない。 収入が増えない。 転職した。前より少なくなった。 退職してから再就職したが給料が減少した。 牛舎と山ぶどう栽培収入で安定している。 収入が無い。 勤続年数が少なく、また、非正規なので少ない。 この額で給料と言われましても、という感じです。 農業収入は赤字。 遺族年金制度と自分の年金とで暮らしている。 この地域で公務員として仕事していますので、平均上位の額であると思います。 満足している。 物価の上昇に所得が対応していない。 せいたくしなければ生活できる程度の年金収入。 賞与、基本給が低め。 年金のみであり普段の生活は出来るが、病氣入院等の時が心配である。 健康な時は頑張っ働いて年金を納めてきたのに、こんな体になっても障害年金ももらえないまま時給が低い仕事しかできなから。 会社の給料が少ない。 支出抑える努力をしている。家庭菜園など。 年金生活であり、なんとかか生活している。 急激な物価高に対して給料が上がらない。 年金生活者で何とかしのいでいるから。 家族の収入無し。 収入が増えない。 歩合制なので勤務時間の割に少ない。 支出抑える努力をしている。家庭菜園など。 妻の国民年金で細々と生活している。 	<ul style="list-style-type: none"> 年金のみの収入のため生活が大変ですが額も年々減額傾向である。 今年60歳になったため、所得は低下すると思う。 低。 正職員なのだが、最低賃金とあまり変わらない金額で雇用されている。 自分の税金を払えるくらい稼きたい。 米価が安過ぎる。年金が目減りしている。 年金や保険料、税金が給料の上がりを感じさせない。 年金額が少ない 年金の収入だけなので、仕事をしていた頃に比べると不安。 仕事の量と比較して。 決して高収入とは思わない。東京の企業と比べると30%程年収が減っている。 年金額の少なさ。 自分年金で生活。 国民年金少ない。 正社員ではないので時給は安いです。生活には余裕を感じにくいです。 時間外労働も多いのに残業手当が出ない。 そこそこで余裕はない。
<p>2 家族の収入・所得額(年金を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主人が厚生年金と企業年金をもらっている。 今のところ夫婦でもらっているの間に合っています。 もう少し夫の稼ぎが良くなってほしい。 主人は定年したばかりだが、お陰様で働いている。 家族が安定した収入がある状態であるので今は安定。 	<ul style="list-style-type: none"> 年金生活者で何とかしのいでいるから。 家族の収入無し。 収入が増えない。 歩合制なので勤務時間の割に少ない。 支出抑える努力をしている。家庭菜園など。 妻の国民年金で細々と生活している。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の働いてきたお金で暮らしている。年金までもらっていない。 妻が社員からパートになったため所得低下。保険等が心配。 年金額の減額。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<ul style="list-style-type: none"> 夫婦2人で働いて、年金と何とか暮らしています。 あるにこした事ないがなんとか生活できている。 		
3 自分の支出額	<ul style="list-style-type: none"> 給料安くほとんど支出12万。 	<ul style="list-style-type: none"> 退職前の支出水準をなかなか下げられない。 5～6年の間に、父と母を亡くし、その間の医療費や葬祭費、親戚等の付き合い、生活全般で不慣れのせいもあり使ってしまった。 収入を考えて、支出するようになっている。方法の一つとして、長年毎世家計簿をつけて生活したことが良かったと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 年金の収入よりも支出が多い。 収入に対して医療費が多く、余裕が無い。 生活費の上がり方が止まらない。
4 家族の支出額	<ul style="list-style-type: none"> 主人は自分の年金で支出している。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学生が2人いるので、支出が多いが、子どもの将来のためと思って頑張って節約している。 食費が高くなった。近くに何も無いので遊びに行くために遠くに行かなければいけないため、時間とお金がかかる。 支出多い。 特に困ることなく、生活できている。たまに旅行なども。 	<ul style="list-style-type: none"> 物価が上がりがり、貯蓄にまわしにくくなった。 光熱費は相場場で値上げするが、収入が追いつかない。 高齢者との付き合いが多く、葬式などの出費が多く親も高齢で頼れない。
5 自分の金融資産(預貯金や有価証券等)の額			<ul style="list-style-type: none"> 将来への不安がある。
6 家族の金融資産(預貯金や有価証券等)の額			
7 自分の借金の額	<ul style="list-style-type: none"> 所得に関して不満はないが、奨学金がまだまだ残っているため、ギリギリの生活、工夫する必要がある。 役員報酬を減らさざるを得ず、今後の見通しがない。 車ローン他。 	<ul style="list-style-type: none"> 前経営者の借金で苦しい経営です。 持ち家も完済しており、借金がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 車、奨学金の返済のため。 高額。
8 家族の借金の額			<ul style="list-style-type: none"> 家のローンが支払い大変。車に関する支払い、税金が負担に思う。
9 生活の程度	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住に困ることがない(将来に不安はあるが)。 前職の時は多少良かったが、今はしようがないと思っ生活している。 自身の生活水準に満足している。 生活するうえでは困ってはいない。 もうちょっと、まじな暮らしてきたらと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 暮らし方を考え、支出を考え、色々生活面で考える事。 生活の程度は良好。年金生活になった時が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> 収入は増えないが、物価高などで、不足を感じる。
10 その他()	<ul style="list-style-type: none"> 年金生活なので細々と暮らしている。この先年金が 	<ul style="list-style-type: none"> 今は子どもがいけないが将来のことを考えると不安で 	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> 下がってと不安になることもある。 旅行は、あまり行けてない。 (-)年金と家族の収入、限られた収入であるが、 (-)せいたくすることなく身の丈に合った生活を送れている。 (1,2)現在、年金以外の収入があるが、年金のみとなったときにやや不安を感じる。 (1,2,3,4,5,6)自分・配偶者に収入はあるものの、子どもに係る費用等で金融資産が少なく、不安あり。 	<p>横ばい あるから。</p> <ul style="list-style-type: none"> (-)寡婦なので控除されて助けてます。 (-)二人で働いた分だけの収入。 (-)政治はとて大切だと思っています。未来に希望もてる国造りに力を注ぐよう切に願っています。 (1,10)家の事をしつつ、仕事も可能な限りしているが、生活費が高すぎる。 (1,2)私と家内の年金収入でなんとか暮している。 (1,2)夫婦で年金生活です。年金は減る一方で物価が上がっているの、少し不安があります。 (1,2)収入が少ない。 (1,2)借金はあるが何とか仕事は継続できている。 (1,9)今は、いいですが将来の不安はあります。身の丈に合った生活をすればいいかと思いますが…。 (3,4)まあまあ良好。 (4,9)欲しい物がない。車の経費がちょっとかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> (-)全部;税金を借金して払っている。起業して成功しなければ生活出来ない。金融は余裕が無ければ無理。 (-)世帯主の夫が病気になる前に夫の年金を受け取れるように、預金が無くなる前に夫の年金を受け取れるように、待っている状態であり安心、安全な状態を保ちながら、できるだけ仕事をしたいと考えている。 (1,2)私の年金と息子の働いた給料の一部と田からの収入の一部。 (1,2)収入は、年金所得だけで、食べていくのにギリギリ。 (1,2)自分と夫の年金では生活できないと思う。 (1,2)同居で生活出来る程度。 (1,2)諸物価等が高騰しているのに、年金支給額は変わらず、特別徴収額も増えるばかりで、将来の生活に不安を感じる。 (1,2,3,4,5,6)老後の資金は、絶対に足りないと思う。不安。 (1,2,6)もう少し収入が多ければ老後が安心。 (1,2,9,6)暮らしには困らないが、将来は不安しかない。 (1,3,7)物価高すぎていくらく収入があっても…育休中だし…電気代高すぎるし…奨学金返しているし…。 (3,4)光熱水費(電気料金)の高騰。 (3,4)年金収入は変わっていないのに、日用品・食料品・電気料医療費など生活必要経費の支出が増えるばかりで、余裕の無い生活になっている。

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの

(11) 歴史・文化への誇り

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 その地域で過ごした年数	<ul style="list-style-type: none"> 60年。 田舎なので古い神社やお寺、氏神様などがある。自然に囲まれている。小さい頃から見る山々なので良い。 	<ul style="list-style-type: none"> この地域で49年になります。歴史・文化はあまり感じません。 25年。 生まれた時から同じ村、町に居る。 20年。 良い所だと思う。 78年。 60年。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元ではないため、歴史的な事はあまりわからな い。 特に誇りを感じる所がない。 地元じゃないし、地元民は地元民たちで楽しんでるだけ。
2 世界遺産があること	<ul style="list-style-type: none"> 平泉。 平泉、中尊寺。 御所野縄文遺跡。 	<ul style="list-style-type: none"> 誇りに思いますが、地元なのに一度も見に行っていない。いつも混んでいる。 世界遺産や国立公園が多い。 橋野高炉、世界遺産があることを誇りに思う。 世界遺産(縄文遺跡)。 	
3 地域のお祭り・伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> 地域での祭り、さんさなど。 その時期がくればワクワクします。 お祭り、伝統芸能はこの先も続けてほしい。 継承する人がいないのであれば、違うことを考えればいいと思う。 地域・地区行事は細々とも残して行きたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 祭りの山車に参加。 子どもが小さい頃は参加した。 伝統芸能に参加している。 鬼剣舞。 最近、コロナの影響で縮小されているが「遠野まつり」は、素晴らしいと思う。 コロナ禍のため、数年無い。 地域での祭り、伝統芸能が、子どもたちに引きつがれている。 震災でお祭りが出来ない時期もありましたが、前回実行した時は、小規模でも感無量な気持ちになりました。 地域には伝統芸能虎舞がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の芸能等が全く無くなってしまった。
4 地域の文化遺産・街並み	<ul style="list-style-type: none"> 観光地としても魅力があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 住んでいる地域の街並みに歴史を感じられる。 「世界の行ってみたい街」の二番目に選ばれたことは嬉しい。 商店街の街なみ。 中尊寺、骨寺荘園。 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅周辺には、色々歴史に係わる事が多いみたいだが、長くわかわかない。
5 郷土の歴史的偉人	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県民として多くの偉人がいる事に誇りを感じています。 歴史的偉人大槻家三偉人がいること。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近に関連施設があるから。 歴史を知ることが大事だと思いますが、子育てが落ち着いたら考えたいです。 	

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<ul style="list-style-type: none"> 後藤新平、斎藤實、高野長英。 	<ul style="list-style-type: none"> 二戸市には歴史的偉人がいるという事。 田中館愛橘。 九戸政実。 伊勢の海力士、安藤陸夫作曲家など。 南部潜り。 野村胡堂。 	
6 地域の文化・芸術分野の著名人	<ul style="list-style-type: none"> 宮沢賢治、高村光太郎の居住。 宮沢賢治。 ラグビーの町釜石を忘れたくない。 		
7 地域の食文化	<ul style="list-style-type: none"> 三大麺など。 郷土料理も文化遺産だと思います。残ってほしいです。 餅。 	<ul style="list-style-type: none"> お米や野菜を作り、地域の人達との交流がある。 三陸の海の幸が豊富である。 地元で収穫したソバ粉で打つソバなど。 	
8 地域での文化継承・保存活動	<ul style="list-style-type: none"> 私は関わっていませんが近くの方々が一生懸命やっています。 郷土芸能・文化を高校生が継承し全国から高評価を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化・歴史の伝承は大切であり、できれば自身も今後関わっていききたい。 昨年、数年ぶりにさんさ踊りに参加し、文化継承・保存の大切さについて再認識した。 知る機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> あまり機会がない。
9 地域の歴史についての教育機会	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史を教わる機会があったが逃がしてしまっただことが残念に思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今、やや個人的に地域の歴史について話を聞いたり、図書館で調べている人に話を聞くのが楽しいが、3.11の津波で(歴史を)知っている人達が亡くなり、くやしい思いをする事もある。 旅行者があまり来ないイメージがある。 あまり有名な文化が少ない。 文化は村八分。 地域であまり力を入れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧地名などをあまりにも簡単に廃止してしまうことに疑問をもっています。
10 地域に対する周囲の評判			
11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	<ul style="list-style-type: none"> 自分が地域をよく知らない。 		<ul style="list-style-type: none"> そもそもそれらを大事にしようとする気持ちは人々にない。
12 地域の歴史や文化に関心がない			<ul style="list-style-type: none"> 自発的に調べてないので、何があるかわからない。 これといった魅力がない。
13 その他()	<ul style="list-style-type: none"> 地元の文化や歴史を学ぶ機会がない。 名所がある。 (2,3,4,5)歴史的な建物・歴史的偉人がたくさんあると思うので今後も大切に残したり伝えてほしいです。 		
複数選択等(※)		<ul style="list-style-type: none"> (-)盛岡がNYタイム「2023年行くべき52か所」に選ばれてうれしい。 (-)私も地域の歴史を調べたことが有り仲間がいる。 (-)被災したことは消えない。それでもそのことを忘 	<ul style="list-style-type: none"> (38)強制的なものも感じるが参加すると楽しさも感じる。 (89)保存活動が少ない。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
		<p>れず伝えたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (1,3,4,5,7,8)誇りに思い、守るべき物と思うが故に、この地に残り生活しています。ほり起こせば知らなかつた事がまだまだ沢山あり、知れば知る程面白いです。少子化が進み、伝承が危ぶまれる伝統芸能がいくつもあります。子ども達へのふるさと教育をさらに充実させ、一人でも残ってもらい、地域が絶える事が無いようにしなければなりません。 • (1,3,5)毎日、同じ景色を見て、子どもの頃を思い出したりして、楽しく感じたり誇りに思っている。 • (2,3)世界遺産や伝統芸能は、生活の潤いとなる。 • (4,10,11)何も無いのがいい、と自虐的に言う人が多いです。 	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かつたもの

(12) 自然のゆたかさ

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
1 緑の量(豊か・少ない)	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県はすばらしいと思います。 ここに生まれて良かったと思う。 緑が豊かで多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 郊外に行くくと緑が多い。 緑が豊かです。 田舎なので自然豊か、水もきれいです。 水田の中のいぐねの景観。 ほとんど無い市内中心部よりは豊かな方。 田園地帯に家が点在している環境。 緑の中生活している(周りが山)。 緑の量が豊かで、ホテルの保護活動等々素晴らしい。 野山が近い。 緑は多い。 森林が豊かなのはいい。 自然が豊かで美しい。 周りが山に囲まれている。 高齢になると免疫が落ち、杉花粉に悩んでいる老人が多い。 緑が豊かで、野菜も育つので良い環境である。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺には緑が少ないみたい。 昔より緑の量が少なくなった(田んぼなど)。 身近な緑が開発で失われつつあります。計画性を疑います。 少しずつですが、木材の伐採等も御近所で多くなり、田んぼも自然は豊かではなくなってきました。整地される予定です。
2 空気の状態(綺麗・汚い)	<ul style="list-style-type: none"> 都会と比べると断然空気が良いし、むしろこれからも住みたい。 豚舎のにおいがひどい(町中に広がっている)。 花粉・ゴミを燃やしている(農家)ので喘息がひどくなった。 空気がきれいで自然が多い。 川の水が昔より濁っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 空気が綺麗。 きれい。 川が近い。 自然が豊かで美しい。 車が少ない。 山に囲まれ排ガスの工場もなく県道等のみ。 北上川・中津川が町内を流れている。 きれい。 	<ul style="list-style-type: none"> 鶉舎がくさい。
3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	<ul style="list-style-type: none"> すぐ近くの海がキレイ。 海の状態がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然が豊かで美しい。 いつもきれい。 回りが海、山に囲まれているので、空気も良いし、四季折々の風景がみられる事(津波は考えなければ)。 海も近くて、新鮮な魚がお腹いっぱい食べられた 	<ul style="list-style-type: none"> 泳げる川があるといいですね。 ブラックバスを排除した池は、死んだようだ。水が動かないから、植物も育たない。また、釣り禁止の札をつけた池も荒れ放題になっている。釣り人が来ないため、ゴミをすてる人がいるようだ。
4 海の状態(綺麗・汚い)			

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
5 多様な動植物の生息		<p>横ばいが、今は不漁で、アワビ、ウニ、サンマ、サケ、他は高いし地産地消でない。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 海産物が豊富(ウニ、アワビ) • ゴミが少ない • 既に多くの生物種が激減し、絶滅しつつある。スズメさえ減っている。 • 里に下りてきている動物が多い。 • 一生懸命生きている野生動物に涙が出そうになります。かれらの生活を人間が脅かしてはならない。 • 家の後ろに山があるので、たまに動物を見かける。縁側に鹿が歩いているのを見た時はびっくりした。 • 良くも悪くも野生動物が多い→困ることもある。 • 周囲の緑や海に近い事もあり満足しています。時々海が見たくくなります。 • 運動公園が近くにある。 • 豊富だが整備が欲しい所もある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 鹿、熊が多すぎるが、何の対策もないのは疑問。
6 公園・緑地、水辺などの周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> • 公園の清掃年3回。 • 家の前に公園があるから。 		<ul style="list-style-type: none"> • 無い。
7 自然(山・海など)と触れ合う機会	<ul style="list-style-type: none"> • 近くに山菜やキノコの採れる山が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一歩出ると自然に触れ合える。 • 趣味で山(川など)に行く機会を作っている。 • ウォーキングでの山や川の眺め。 • 山登りは大好きで若い頃は家族と登山を楽しんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> • 海など見ながら散歩できますが、自然がある反面交通の便が悪く車で盛岡に行くのにも約3時間かかるのでいつでも沿岸は取り残されていると思います。盛岡周辺の町に住んでいる人は30分位で盛岡にいけないあとだと思います。 • 都会生活をした事ないのでわからない。
8 地域での自然保護活動		<ul style="list-style-type: none"> • 神社の周りに植えたアジサイの手入れ。 	
9 自然に関心が無い			
10 その他()		<ul style="list-style-type: none"> • 岩手は自然がたくさんあり、恵まれていますが、最近熊や鹿やハクビシンやイノシシなど野生生物の被害も多いので、そこは困るところです。農作物の被害が心配。 • 熊の怖さ。 	<ul style="list-style-type: none"> • 雪も自然を感じ、スキーなども楽しめるが、生活としては、除雪や排雪が追い付かず、年齢と共に苦痛と感じる。雪のない他県に住んでいた頃の方が、時間も体力も、ゆとりがあったと感じる。
複数選択等(※)	<ul style="list-style-type: none"> • (1.2)ただ緑が多いだけ！生かしていない。 • (1.2.3.7)川が沢山あり、緑も多いと感じます。 • (1.2.4.7)自然だけは自慢です。 • (2.3.4)企業城下町として、栄えた頃に比べれば空、 	<ul style="list-style-type: none"> • (-)何も無い所、きれい。 • (-)自然が豊かであれしい反面、鹿、熊が多く出るので怖いところが少し嬉しい。自然を壊さないように熊が困らないように気をつけて生活していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • (1.3)子どもの頃には、川の水も豊かに有りました。川にサケも見られました。近頃は森林は少ないが、自然がさみしいです。

要因の番号	実感上昇	横ばい	実感低下
	<p>川、海はかなり自然に近く回復している反面市内がさびれていっている。</p>	<p>横ばい</p> <ul style="list-style-type: none"> • (-)家の中から海、田、山、を見ることが出来る。 • (1.2)近くに広い池があり鯉が住み、白鳥が飛んできます。 • (1.2)自然と共に暮らしていると思う、人間も自然の一部。 • (1.2.3)住んでいる地域が河川・緑が豊かで都市部に住むには申し分ない。 • (1.2.3)河川もきれいで、自然の豊かさを感じる。 • (1.2.3.5)山の自然には恵まれている。 • (1.2.3.5.7.10)素晴らしい自然を維持するには、山の手入れ、増え過ぎた動物対策、適切な工事をしなければならぬと思うので、足りない所は県の方でもバックアップして欲しい。 • (1.2.3.6)他の地域のことはわかりませんが、自分の中では素晴らしい自然に恵まれた地域だと思っている。 • (1.2.4.5)近くの浜、森林、道を歩いていて鹿に出会うことも。熊の目撃情報…と放送を聞けば不安になるけれど、身近に緑がたくさんある所に住めて、良かったと思っている。 • (1.3.7)自然そのものの中に居る。ちょっとバイパスが近いので音は少し気になる。 • (2.4.6.7)安らぎを感じる、特に年を重ねると。 	

※ 複数選択等の(-)は、要因の番号の記載が無かったもの